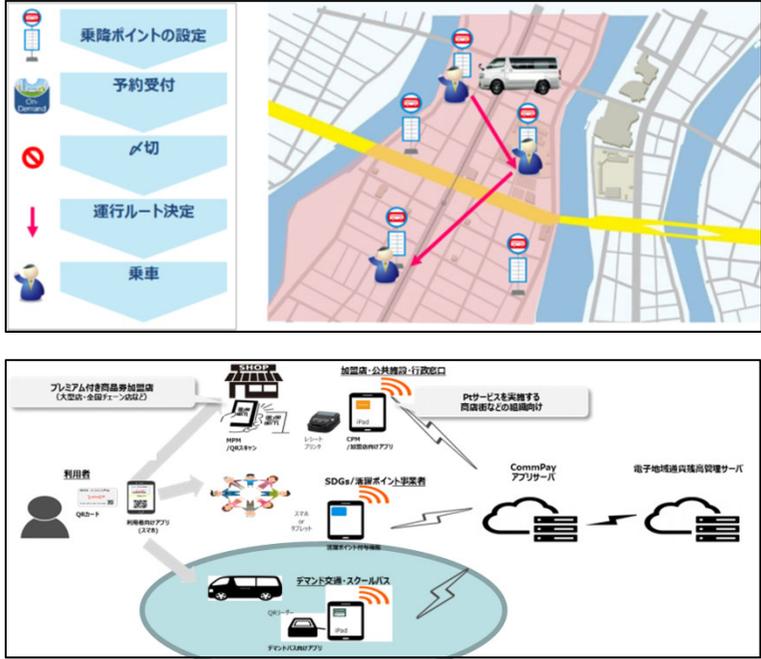


事業概要 【AIオンデマンド交通とデジタル地域通貨導入による地域デジタル基盤強化事業】

実施地域	北海道名寄市	事業費	87,007千円
実施主体	北海道名寄市	人口	26,000人（2023.1月末）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通状況の悪化による、市内商業圏との人的流通の鈍化。市補助事業の費用対効果悪化 ・域内デジタル決済化の遅れによる、域外への経済流出と活性化施策実施時のコスト増と対策速度の鈍化 ・AIオンデマンド交通導入での環境改善による、利用者増と商圈への人流誘導。市事業の費用対効果の最大化 ・デジタル地域通貨の導入による、地域経済デジタル基盤構築と市民に有効な実利用環境の同時提供 		
具体サービス	<p>【AIオンデマンド型乗合交通システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリ・Webによる配車予約 ・ AIによる効率的な運行ルート作成と配車 ・ 出発地・目的地周辺での高い自由度の実現 ・ 車両小型化による運転手確保等、持続可能な交通体系を確保する <p>【デジタル地域通貨キャッシュレス決済システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 域内経済循環型のデジタル地域通貨 ・ 参加事業者でのデジタル決済の提供 ・ 公共交通料金支払利用によるデジタル決済 ・ 行政ポイント付与による地域活性化 ※予定 ・ 行政窓口サービス等のキャッシュレス化 ※予定 ・ マイナポイント連携による利便性強化 ※予定 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド型乗合交通サービスの利用者数 ②デジタル地域通貨アプリのダウンロード数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド型乗合交通サービスの満足度 ②デジタル地域通貨の地元店舗での消費額 ③ 	

事業概要 【AIオンデマンド交通運行事業】

実施地域	北海道富良野市	事業費	7,800千円
実施主体	北海道富良野市	人口	20,234人 (R4.12.1)
事業概要	<p>本事業は、定時定路線で運行している市内路線バスの利用者が減少しているなか、利用者のニーズに応じたオンデマンド型の運行が求められており、電話またはスマートフォンのアプリによって車両を呼び出し、A I が最適なルートや運行時間を算出し、乗り合いによって最適な配車や運行を行うシステムであり、マイカーがなくても安心して移動ができる新たな交通サービスを導入する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【地域住民向けオンデマンド交通サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民がオンデマンド交通を利用したいとき、電話またはスマートフォンで、乗降したい時間、乗降したい場所の事前予約ができる。 ● 利用者のニーズが高い場所で乗降させるため、病院やスーパー、駅や地域コミュニティセンター等の公共施設に指定停留所を設置する。 ● 車両が到着したら乗車し、運転手に名前と行先を伝え、乗車料金を支払う ● 地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出機会を創出する <p>【A I 運行システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者から乗車依頼を受付し、最適な乗り合わせと経路をA I が計算 ● 目的地まで乗合送迎で運行 </div> <div style="flex: 2;"> <p>AI運行システムを活用し、多くの市民が安価で乗り合って希望に叶う時間に移動できる地域公共交通の社会実装を目指す。</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① AIオンデマンド交通会員登録者数 ② AIオンデマンド交通利用者数 ③ アプリ利用による利用率 <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① AIオンデマンド交通利用者のアンケートによる満足度 ② 運転免許証の自主返納者数 ③ 		

事業概要 【地域公共交通案内情報充実事業】

実施地域	青森県青森市	事業費	2,791千円
実施主体	青森県青森市	人口	271,833人
事業概要	<p>青森市は全域が特別豪雪地帯に指定されており、特に冬期間は交通状況・道路状況の悪化により遅延が発生するなど、バス利用者が不安・不満を感じる機会が多い実情があります。この不安解消や観光客等への乗換案内等、地域全体のバス利便性向上を図るため、民間事業者への委託運行路線へバスロケーションシステムを導入し、本市のバス路線の90%以上の運行情報等を利用者がリアルタイムかつ視覚的に確認できる環境を構築します。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【バスロケーションシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営企業（青森市営バス）が導入したシステムと一体的に運用可能なバスロケーションシステムを民間事業者への委託運行路線に導入し、本市のバス路線の90%以上の運行情報を、利用者が自身のスマートフォン等から一元的に確認可能な環境を整備する。 ・GoogleMapsRealTimeにも対応し、本市の地理に不慣れな観光客等も利用しやすいシステムを構築する。 	<p>導入後イメージ</p> 	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ホームページへのアクセス数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民意識調査 ②利用満足度（ねぶたん号） ③ 	

事業概要 【名取市地域公共交通DX導入事業】

実施地域	宮城県名取市	事業費	70,890千円								
実施主体	宮城県名取市	人口	79,610人								
事業概要	<p>交通空白地解消、買い物・移動弱者支援、公共交通利用促進等の課題に対し、「名取市地域公共交通計画」を令和5年3月に策定。路線バスの再編と合わせ、AIデマンド交通およびコミュニティバス「なとりん号」（以下、なとりん号）へのバスロケーションシステム・電子決済・ODデータシステム等を導入。「誰もが自由に移動できる利便性の高い快適な生活の充実」を図るとともに、利用者数拡大による持続可能な公共交通体系の構築を目指す。</p>										
<p>具体サービス</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス名</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① AIデマンド交通システム</td> <td>利用予約に対し、最適なルート選択・配車を行うAIデマンド交通システムを導入。市民の移動ニーズに対して効率的に応じる仕組みを提供。</td> </tr> <tr> <td>② バスロケーションおよびODデータ計測システム</td> <td>【バスロケーション機能】スマートフォンのブラウザやアプリで位置情報および運行状況を確認できる機能を提供。利用者の利便性を向上。 【ODデータ計測機能】AIカメラ設置により乗降客数を計測。乗降傾向の分析から運行経路の適正化や効果的な運行形態を実現。</td> </tr> <tr> <td>③ 電子決済システム</td> <td>運賃精算に電子決済サービスを導入。利用者の利便性向上およびキャッシュレス決済を促進。</td> </tr> </tbody> </table>	サービス名	概要	① AIデマンド交通システム	利用予約に対し、最適なルート選択・配車を行うAIデマンド交通システムを導入。市民の移動ニーズに対して効率的に応じる仕組みを提供。	② バスロケーションおよびODデータ計測システム	【バスロケーション機能】スマートフォンのブラウザやアプリで位置情報および運行状況を確認できる機能を提供。利用者の利便性を向上。 【ODデータ計測機能】AIカメラ設置により乗降客数を計測。乗降傾向の分析から運行経路の適正化や効果的な運行形態を実現。	③ 電子決済システム	運賃精算に電子決済サービスを導入。利用者の利便性向上およびキャッシュレス決済を促進。	<p>展開イメージ</p>	
サービス名	概要										
① AIデマンド交通システム	利用予約に対し、最適なルート選択・配車を行うAIデマンド交通システムを導入。市民の移動ニーズに対して効率的に応じる仕組みを提供。										
② バスロケーションおよびODデータ計測システム	【バスロケーション機能】スマートフォンのブラウザやアプリで位置情報および運行状況を確認できる機能を提供。利用者の利便性を向上。 【ODデータ計測機能】AIカメラ設置により乗降客数を計測。乗降傾向の分析から運行経路の適正化や効果的な運行形態を実現。										
③ 電子決済システム	運賃精算に電子決済サービスを導入。利用者の利便性向上およびキャッシュレス決済を促進。										
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① AIデマンド交通の利用者数 ② バスロケーションシステムの利用者数 ③ 電子決済サービスの平均利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市が主体となって実施する新たな公共交通の満足度 ② なとりん号の収支率（デマンド交通含む） ③ 公共交通による人口カバー率 									

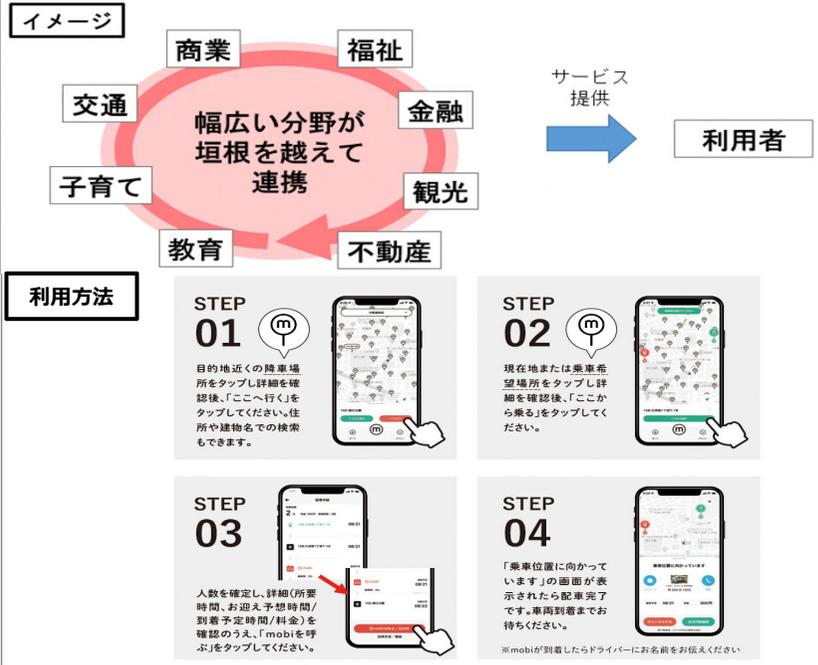
事業概要 【岩沼AIバス導入事業】

実施地域	宮城県岩沼市	事業費	11,840千円
実施主体	宮城県岩沼市	人口	43,674人
事業概要	<p>市民が求める需要に対応した交通体系とするため、既存の路線バスやデマンドタクシーに加えて、AIバスを導入し、市内交通の利便性と地域経済の向上を図る。AIバスは乗り合い交通とし、個別輸送（一般のタクシー等）と比較して移動あたりのコストを下げ、安価でのサービス提供を行う。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【AIバス予約アプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者はアプリを使用して乗車希望時間及び乗降ポイントの予約をする。 <p>【AIバスシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工知能が利用者の予約状況に応じてリアルタイムで最適なルートを作成するシステムをバスに実装する。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①岩沼AIバス利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①市民満足度調査</p>	

事業概要 【タブレットを使用した認知機能検査】

実施地域	秋田県	事業費	3,351千円
実施主体	秋田県警察本部交通部運転免許センター	人口	927,561人 (R4.12.1)
事業概要	<p>75歳以上の運転者が運転免許証更新時に行う指定自動車教習所における認知機能検査等の受検待ち期間の長期化が課題となっている。運転免許センターにおいて「認知機能検査用タブレット」を導入し、検査の効率化・合理化により受検者数を拡大し、受検者の負担軽減、受検待ち期間の短縮を図るとともに、指定自動車教習所に対して、タブレット方式による検査導入の普及促進を図るものである。</p>		
具体サービス	<p>【タブレット式認知機能検査システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路交通法の規定により75歳以上の高齢運転者が免許の更新を受けようとするとき又は認知機能が低下した場合に行われやすい違反行為をしたときは、認知機能検査を受けることとされている。現行の紙方式に替えてタブレット方式の検査を導入することにより、順次個別に検査を行うことが可能となり、受検者個人のペースで進行することが可能になるほか、自動音声による検査の進行や自動採点が可能となることにより、検査・採点時間の短縮が見込まれ受検者や検査員の負担軽減が図られるものである。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① タブレットを使用した認知機能検査数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① タブレットを使用することによる満足度 ② 受検待ち期間の短縮 ③ 指定自動車教習所への導入促進</p>	

事業概要 【大館版mobiプロジェクト】

実施地域	秋田県大館市、市中心部	事業費	70,966千円
実施主体	秋田県大館市、秋北タクシー株式会社、大館版mobiプロジェクト推進協議会	人口	68,217人（R4.12.1）
事業概要	<p>先導的共生社会ホストタウンとして、誰もが快適に移動できる交通サービスを提供するため、AIモビリティサービス「mobi」を活用し、本市の課題である高齢者や免許返納者等の移動手段確保や、公共交通空白地域の解消等を目指すものである。また、子育て世代や学生など新たな移動ニーズを掘り起こし、市内の移動総量を増やすことで、地域経済の活性化や既存交通を含む交通サービス全体の利便性向上等に結び付けていく。</p>		
<p>【大館版mobiプロジェクトの構築】 AIモビリティサービス「mobi」を活用した共創型交通サービスを提供する。</p> <p>○提供されるサービス 「定額料金」「相乗り」「予約型ワゴン車」による移動サービス</p> <p>○利用者への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出機会の増加 ・自家用車の運転機会の減少 ・家族などの送迎からの解放 <p>○社会への波及効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地域及び移動格差の解消 ・孤独化防止 ・地域経済の活性化 ・積雪による外出控えの解消 ・CO₂排出量削減によるカーボンニュートラル ・健康増進 ・家族などの送迎からの解放による時間の有効活用 ・既存交通を含む交通サービス全体の利便性向上 ・ファーストワンマイルの利便性向上 ・交通安全の向上 <p>具体サービス</p>	 <p>イメージ</p> <p>商業 福祉 金融 観光 不動産 教育 子育て 交通</p> <p>幅広い分野が垣根を越えて連携</p> <p>サービス提供 → 利用者</p> <p>利用方法</p> <p>STEP 01 目的地近くの乗車場所をタップし詳細を確認後、「ここへ行く」をタップしてください。住所や建物名での検索もできます。</p> <p>STEP 02 現在地または乗車希望場所をタップし詳細を確認後、「ここから乗る」をタップしてください。</p> <p>STEP 03 人数を確定し、詳細(所要時間、お迎え予想時間/到着予定時間/料金)を確認のうえ、「mobiを呼ぶ」をタップしてください。</p> <p>STEP 04 「乗車位置に向かっています」の画面が表示されたら配車完了です。車両到着までお待ちください。 ※mobiが到着したらドライバーにお名前をお伝えください</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①mobi大館エリア会員数 ②1日あたりの利用者数 ③アプリでの申込割合 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者の満足度 ②運転免許返納者数 ③「外出頻度が増えた」と答えた方の割合 	

事業概要 【タブレットシステムによる認知機能検査のデジタル化事業】

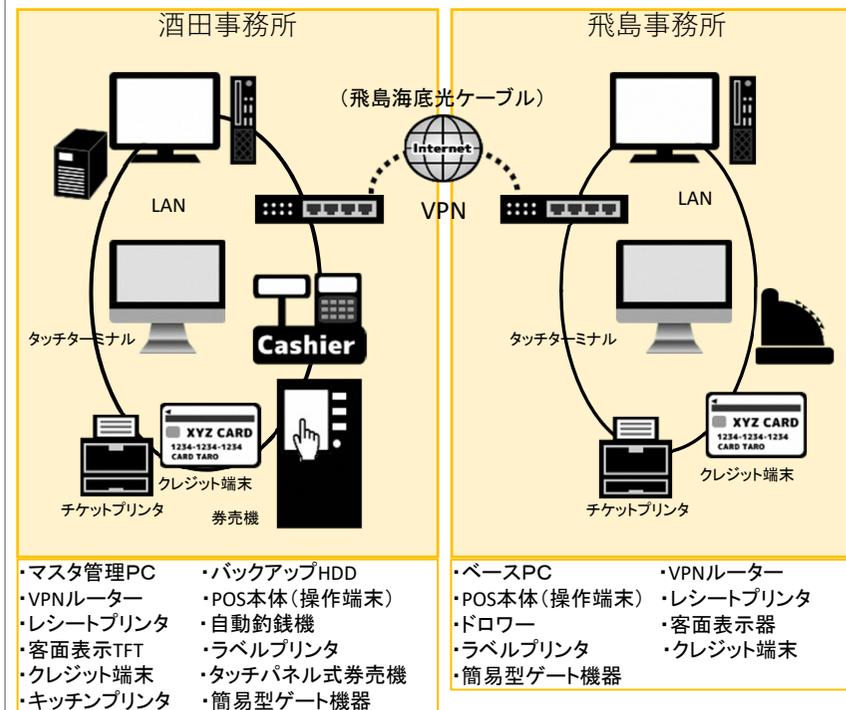
実施地域	山形県内	事業費	5,501千円
実施主体	山形県警察本部交通部運転免許課	人口	1,038,785人 (令和4年12月1日現在)
事業概要	<p>現在、山形県警では、臨時認知機能検査を印刷物（紙）を使用し実施しているが、同検査をタブレットシステムによる実施に移行することにより、実施形態をこれまでの集団実施から受検者ごとの個別実施に変更して検査時間を短縮するとともに、後日郵送で行っていた検査結果通知を即日通知に変更し、検査に関する受検者の利便性の大幅向上を実現する。</p>		
具体サービス	<p>【タブレットシステムによる認知機能検査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • タブレットを使用して認知機能検査を実施 • ヘッドホンの音声ガイドを聞きながら個別に検査進行が可能 • 自動採点機能によるスピーディな検査結果通知書の作成・交付 	<p>1. 「紙方式」から「タブレット方式」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 音声ガイドにより、検査は個別に自動進行します。 • 受検者は回答をタッチペンで記入します。 • 回答データは、すべてデジタル化されます。  <p><small>tect SYSTEMS Copyright © 2015-2021 Nipponnet Systems Inc. All rights reserved. ※画面は開発中のものです</small></p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① タブレットを使用した臨時認知機能検査人数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平均検査時間 ② タブレットを利用した受検者の利用満足度 ③ 	

事業概要 【やまがたMaaS「らくのる」サービス拡充事業】

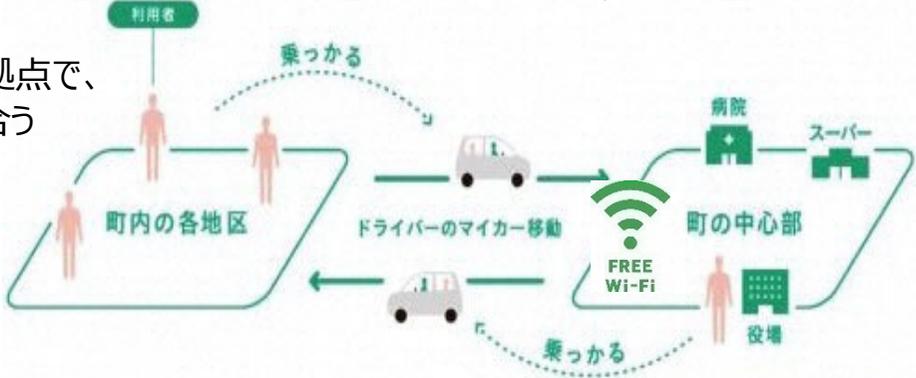
実施地域	山形県山形市	事業費	81,560千円
実施主体	山形県山形市	人口	244,102人
事業概要	<p>本市は、自家用車を中心とした移動形態となっており、車を持たない大学生等や高齢者の行動範囲が限られていることによる不便さ、親が子どもの塾や習い事の送迎をすることによる労働時間の制約、観光客の回遊性の低さといった移動に関する課題を抱えている。そうした課題を解決するため、デジタル共通チケットの種類を増やすとともに、デジタルマップでの交通サービスの可視化、コミュニティサイクルの増台によって、移動の利便性を高めていく。</p>		
具体サービス	<p>【やまがたMaaS「らくのる」での新たな共通チケットの販売、デジタルマップでの交通サービスの可視化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民をターゲットにした共通チケットで組み合わせる交通サービスに、既に対象としている路線バス及びコミュニティバスに加え、新たにタクシー及びコミュニティサイクルを追加し、4つの交通サービスを組み合わせたデジタル共通チケットを販売する。 観光客をターゲットにした空港から観光地までの移動をパッケージにした市内を周遊できるデジタル共通チケットを販売する。 JAL MaaSと連携し、やまがたMaaSで販売しているデジタル共通チケットをJAL MaaSでも購入できるようにする。 デジタルマップを作成し、バスの路線図やコミュニティサイクルのポートの位置図等を表示するとともに、おすすめスポットやお店の情報を掲載する。 	<p>【コミュニティサイクル】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティサイクルの利便性を高めるため、サイクルポートの数を倍にするとともに、自転車の数も100台増台する。 <p>【オンデマンド乗合サービスのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> オンデマンド乗合サービスの利用者の利便性を高めるため、アプリでの予約の受付やAIでのマッチングなど、デジタル化する。 	 <p><コミュニティサイクル></p>  <p><デジタル共通チケットの画像></p>
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> やまがたMaaSアプリの利用者数 コミュニティサイクルの利用者数 AI オンデマンドの利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共交通の利用者数 やまがたMaaS、コミュニティサイクル事業により公共交通の利便性が向上したと感じる住民、利用者の割合 	

事業概要 【離島航路の券売業務効率化によるサービス向上】

実施地域	山形県酒田市、飛島地区	事業費	23,453千円
実施主体	山形県酒田市 定期航路事業所	人口	97,395人
事業概要	<p>離島飛島と本土を結ぶ定期航路の運営において、このたび海底光ファイバーケーブル開通により飛躍的に改善された通信環境を背景に可能となった飛島－本土の2事業所間のシステム連携を伴うデジタル技術の実装により、離島航路の乗船手続きのスマート化による利用者サービスの向上と業務の最大効率化を図るもの。</p>		
具体サービス	<p>発券業務連動POSレジシステム、自動釣銭機、キャッシュレス券売機システムを導入運用によりお客様サービスの向上を図ります。</p> <p>【乗船手続きに係るサービス向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様対応時間の迅速化→キャッシュレス券売機、自動釣銭機導入で支払い手続きの非接触化と効率化 利便性の向上→予約情報の運用による乗船名簿手書きの省略化 出航前集中時間帯の混雑緩和→乗船券販売窓口と自動券売機への分散誘導をすることで、発航遅延につながる混雑を緩和 <p>【券売業務効率化によるサービス向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛島⇔本土間のリアルタイム帳票情報把握によりお客様の問い合わせへの即応 事務効率改善による丁寧な対応時間の確保 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①キャッシュレス決済の利用比率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 乗船運賃収入 ④ POSレジ利用者の満足度</p> <p>② 待ち時間の減少</p> <p>③ 問い合わせ回答までの時間短縮</p>	



事業概要 【マイカーを活用した公共交通整備事業】

実施地域	山形県西川町	事業費	11,095千円
実施主体	山形県西川町、株式会社博報堂	人口	4,766人
事業概要	<p>人口減少と少子高齢化が顕著になり様々な課題が山積する中で、特に高齢者の移動手段に関する課題が明確になり、その解決につながる対応が求められている。このような状況下において、既の実績のあるノッカルサービス（株式会社博報堂）の知見・経験を活かしながら、住民との協働による新たな移動手段の確保、運用を図り、住民ニーズを充足する個別最適な対応の仕組みを構築する。</p>		
具体サービス	<p>【ノッカルサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイカーを活用した助け合いの公共交通を展開する。 ・ 利用者（移動に困っている人）と住民ドライバー（地域に貢献したい人）をマッチングし、住民ドライバーがマイカーで出かける（帰る）ついでに、利用者に乗せて行く。 ・ 西川町が主体となり、地元交通事業者が運行管理を行うほか関連事業者等と協議体を設置する。 ・ 高齢者大学ほか高齢者が集う生涯学習拠点で、ノッカルサービスを学ぶとともに、地域で教え合うため、地区別の集合型講習会を開催する。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ノッカルサービスの利用人数 ② LINEサービスの利用人数 ③ 講習会への参加人数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ノッカルサービスの満足度（利用者） ② ノッカルサービスの満足度（ドライバー） ③ 講習会参加者理解度 	

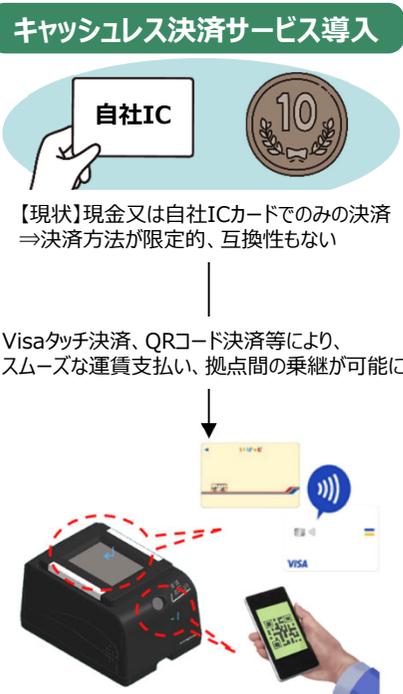
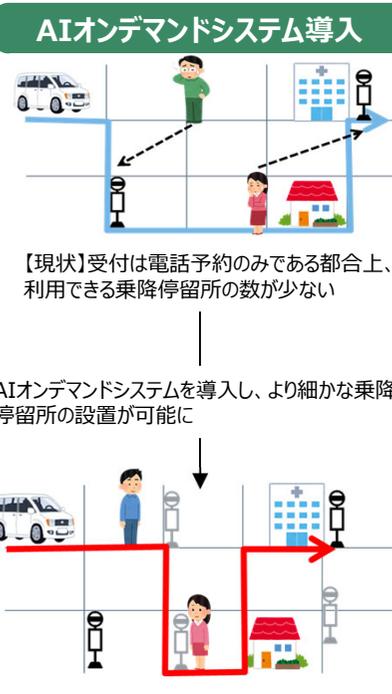
事業概要 【デマンド型乗合タクシー予約システム導入事業】

実施地域	山形県舟形町	事業費	6,200千円
実施主体	山形県舟形町、有限会社星川タクシー	人口	4,883人
事業概要	<p>当町では住民の高齢化が進んでおり、通院・買い物等の日常生活を送るうえで公共交通が必要不可欠なため、デマンド型乗合タクシーを導入している。しかし、現状はアナログな手法で運用しており、予約時間や方法が限定されていることが利用者に不便をきたしている。また、交通事業者の高齢化・減少により業務効率化をしなければ維持する事が難しいため、AIを活用したデマンド交通システムを構築する事で、持続的な生活交通の確保・充実を図る。</p>		
具体サービス	<p>【AIデマンド交通サービス】 バスとタクシーのメリットを活かし、利用者が希望する場所から目的地まで、ドアtoドアの移動を支援するために、移動サービス提供者に必要な予約受付、運行管理などの業務を支援する機能をクラウドで一貫して提供するサービス。</p> <p>【サービス機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペレータ機能 住民からの電話着信と同時に氏名・連絡先等を表示。運行ルート作成・送迎車両割り当てを自動で実施。送迎車両の現在地や運行状況等をリアルタイム表示。 ・ドライバー機能 予約情報や乗降情報をサーバと連携。誰がどこでいつ乗降するかを一覧で確認。 ・分析機能 利用者や利用の多いルート等のデータを蓄積。必要に応じて出力。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デマンド型乗合タクシーの利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①予約システムの利用者満足度</p>	

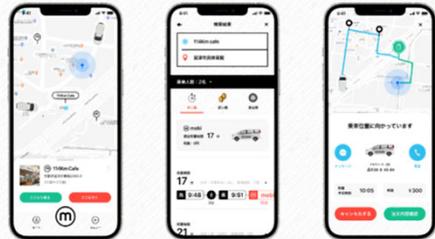
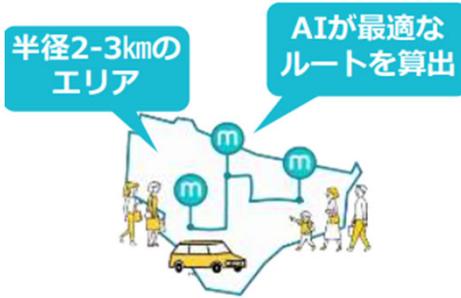
事業概要【EVシェアリング事業】

実施地域	福島県白河市	事業費	4,941千円
実施主体	福島県白河市、サービス提供事業者	人口	58,825人（令和4年12月）
事業概要	<p>公用車として2台のEVと、充電設備、可搬型給電器を各2台導入する。平日は市役所公用車として使用し、公用車の未利用時はスマートフォンで完結するカーシェアリングとして一般開放することで、観光客や市民の交通の利便性を高めるとともに、運輸部門におけるCO2排出削減を進め、脱炭素への意識の醸成及び観光振興を図る。また、EVを「動く蓄電池」として活用することで、災害に強いまちづくりを目指す。</p>		
具体サービス	<p>【カーシェアサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車の予約 利用料の入金 車の解錠 車の返却 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①カーシェアシステムの登録者数 ②EVシェアリングサービスの週単位の平均利用件数 ③EV走行距離数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①観光客数の増加率 ②公用車のCO2排出削減量 ③EVシェアリングサービスの満足度 	

事業概要 【デジタル技術導入による地域公共交通最適化事業】

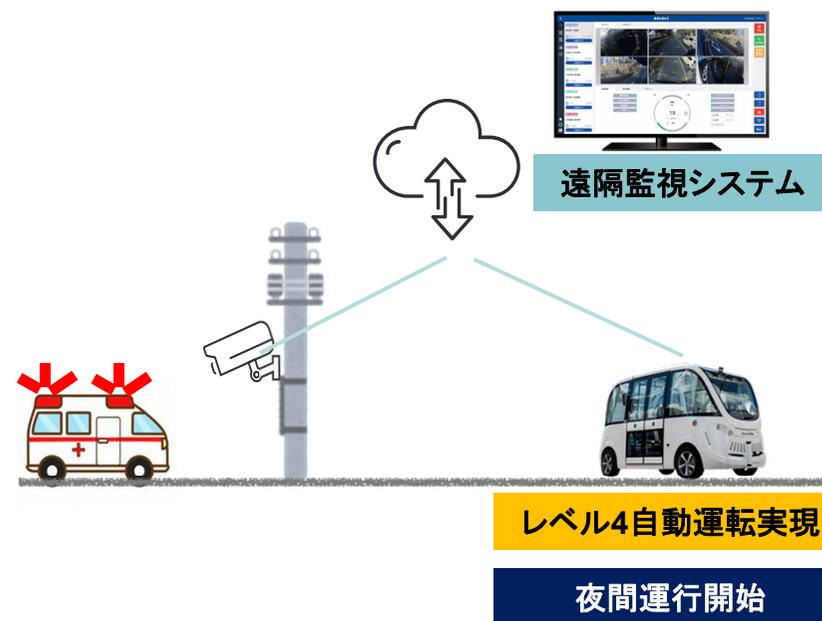
実施地域	茨城県日立市	事業費	56,312千円
実施主体	茨城県日立市、茨城交通株式会社、株式会社みちのりホールディングス	人口	170,008人
事業概要	<p>デジタル技術を活用したMaaS構築のための取組として、今後さらに公共交通サービスの質の向上や、シームレスな公共交通ネットワークの形成を図るため、交通事業者と連携し、路線バスへのキャッシュレス決済やAIオンデマンドシステムを導入することにより、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用者を増加させ、市内の慢性的な交通渋滞の緩和、環境負荷の低減を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【路線バスキャッシュレス決済サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 茨城交通株式会社が運行する路線バスでは、これまで、現金又は2種類の自社ICカードでのみの決済となっていたが、同社運行エリアでのICカードを1つに統一し、さらにVisaタッチ決済及びQRコード決済等を利用可能とすることで、拠点間の乗継ぎを促進する。決済手段を増やすことにより、バス利用頻度の少ない方や、地域外来訪者の利便性向上を図る。 <p>【AIオンデマンドシステム（DRT：呼出型最適経路運行）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通不便地域で運行する予約型乗合タクシーにおいて、AIオンデマンドシステムを活用した呼出型最適経路運行を導入することで、既存公共交通では賄いきれない細かな移動需要に対応し、地域の公共交通を最適化する。 	<p>キャッシュレス決済サービス導入</p>  <p>【現状】現金又は自社ICカードでのみの決済 ⇒決済方法が限定的、互換性もない</p> <p>↓</p> <p>Visaタッチ決済、QRコード決済等により、スムーズな運賃支払い、拠点間の乗継が可能に</p>	<p>AIオンデマンドシステム導入</p>  <p>【現状】受付は電話予約のみである都合上、利用できる乗降停留所の数が少ない</p> <p>↓</p> <p>AIオンデマンドシステムを導入し、より細かな乗降停留所の設置が可能に</p>
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①キャッシュレス決済サービス利用割合 ②AIオンデマンド運行利用人数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①路線バス利用満足度 ②AIオンデマンド運行利用満足度 	

事業概要 【AIオンデマンド送迎配車サービス導入による地域公共交通の高度化】

実施地域	茨城県つくば市	事業費	36,000千円
実施主体	茨城県つくば市、KDDI株式会社	人口	251,937人
事業概要	<p>本市では、デマンド型公共交通サービスである「つくたく」事業を実施しているが、予約枠が1時間当たり1枠であり、特に需要の高い早い時間帯の医療機関を目的地とした運行が特に需要が高いが、前日に電話予約しなければならない・希望どおりの予約ができないなどの課題がある。また、診察終了時間を予想して、帰りの予約をすることも困難である。そこで、医療機関のみを目的地とするサービスを新たに導入し、当該ルートにおける予約をスマートフォンアプリから行えるようにする。加えて、AIの活用によるルートマッチングを行うことで経路最適化を図り、「つくたく」事業を高度化し、利用者のさらなる利便性向上・運行の効率化につなげる。</p>		
具体サービス	<p>本年度においては、以下のサービスを実装する。</p> <p>【AIオンデマンド送迎配車サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関を目的地として、送迎配車サービスを提供する。 スマートフォンアプリケーションから予約をできるようにする。 AIを活用し、目的地までのルートを自動でマッチング 	 <p>スマートフォンから簡単に乗車予約</p>  <p>半径2-3kmのエリア AIが最適なルートを算出</p> <p>AIにより、自動で目的地までのルートをマッチング</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①AIオンデマンド送迎配車サービスの利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①AIオンデマンド送迎配車サービス（医療機関専用）の利用者満足度</p>	

事業概要 【河岸の街さかい復興プロジェクト～自動運転レベル4実現事業～】

実施地域	茨城県境町	事業費	193,530千円
実施主体	茨城県境町、東京電力パワーグリッド(株)、BOLDLY(株)、等	人口	23,920人
事業概要	<p>本町で2020年11月から運行している自動運転バスのレベル4運行を実現するため、車両単体では対応が難しい「緊急車両の接近検知」を支援する路側インフラを整備する。</p> <p>レベル4実現により、運転免許のない添乗員が運行に関与できることから、広く人材を募集し、夜間運行を開始する。これにより、飲食店利用拡大等を通じた町内の経済活動の活性化を目指す。</p>		
具体サービス	<p>自動運転レベル4実現に必要な緊急車両検知インフラを整備し、一般道路における「安全で利便性の高いデジタル交通社会」を他地域に先駆けて実現。全国のモデルケースとなることを目指す。</p> <p>【緊急車両検知システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急車両を検知する画像・音声の取得 画像・音声の解析 遠隔監視システムとの連携 <p>【遠隔監視システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急車両情報のデータベース化 自動運転バスとの連携 <p>【夜間運行開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> 16:30～23:00の夜間運行を開始する。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①緊急車両の検知件数 ②運行便数 ③提携先店舗・施設数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自動運転比率の増加 ②事業成果の横展開先の自治体数 ③乗客数 	



事業概要 【デジタルを活用したシェアサイクル導入事業】

実施地域	栃木県栃木市	事業費	8,278千円
実施主体	栃木県栃木市	人口	155,509人（R5.1月末）
事業概要	<p>スマートフォンアプリにより、自転車の貸出予約や解錠、施錠、返却、支払い等をワンストップでできるシェアサイクル事業を実施する。アプリを通じ利用状況を運営者側が把握しながらのサービス提供が可能なることを活かし、公共交通を補完し観光客や市民の交通の利便性の向上を図り、持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指す。また、移動手段の拡充による市内施設の周遊性の向上を図り、まちなかの魅力の向上と賑わいの創出を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【栃木市シェアサイクルサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンアプリを活用したシェアサイクル事業 アプリで自転車の予約や解錠、施錠、返却、支払い等をワンストップで手続きができる。 アプリでポートの貸出可能状況等が確認できる。 自転車はGPSを搭載した電動アシスト付自転車で、24時間利用可能。 利用者は、いずれのポートで借りたかにかかわらず、どのポートにも返却可能。 ポート数は市内8か所、配置自転車数は30台、配置ラック数は60台を予定している。 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①シェアサイクルの利用者数 ②シェアサイクルの利用回数 ③シェアサイクルの平均利用額 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①観光客数の増加 ②シェアサイクルの利用者満足度の増加 	

事業概要 【沼田市コミュニティバス「ぬまくる」の高度化】

実施地域	群馬県沼田市	事業費	42,876千円
実施主体	群馬県沼田市	人口	45,440人(R4.12.1時点)
事業概要	<p>沼田市コミュニティバス「ぬまくる」に交通系ICカード決済システムの導入及びデマンドバス予約システムの改修を実施することにより、地域住民や観光客等来訪者が利用しやすい公共交通実現のための「沼田版MaaS」の基盤を構築し、本市のDX化による利便性向上及びデジタル田園都市国家構想の推進を図る。</p>		
具体サービス	<p>【交通系ICカード決済の導入】 ぬまくる車両 8 台（路線定期運行、デマンド運行）に対し、非接触型決済機能付きIC乗車カードを利用できる環境を整える。</p> <p>【デマンドバス予約システムの改修】 現在デマンドバスの予約方法はスマートフォンアプリと電話の 2 種を備えているが、全世代に普及している「LINE」からも予約受付ができるようシステムの改修を行う。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通系ICカード決済利用割合 ②LINE予約利用割合 ③コミュニティバス年間利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通系ICカード決済利用者満足度 ②LINE予約利用者満足度 ③ 	

事業概要 【八街市デマンド型乗合タクシー運行事業】

実施地域	千葉県八街市 全域	事業費	18,515千円
実施主体	千葉県八街市	人口	67,461人 (R4.3.31)
事業概要	<p>市内には民間路線バスやコミュニティバスといった定時定路線のバスではカバーしきれていない交通空白地域が複数存在していることから、交通空白地域の解消が課題である。</p> <p>この課題解決に向け、市民の市内移動を支える既存のバス交通や民間タクシー交通を基軸とし、これらを補完する交通システムとしてデマンド型の乗合タクシーを導入する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【デマンド型乗合タクシー配車システム】 予約に応じて運行するデマンド型の乗合タクシーを配車するシステム。利用希望者の予約情報を分析し、予約時間が近く、同じ方向に向かう利用希望者を、乗り合いによって同時に乗車出来るように適切なルートを設定し、運転手に伝達するもの。</p> <p>【デマンド型乗合タクシー運行业務】 配車システムから伝達された目的地に従い、利用者の輸送を行う。利用者の乗降時に配車システムの操作を行う。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間利用者数 ②利用促進に係る取組 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者満足度 ② ③ 	



事業概要 【バスロケーションシステム導入・運用事業】

実施地域	千葉県白井市	事業費	3,514千円
実施主体	千葉県白井市	人口	62,845人(R4.12末)
事業概要	<p>市のコミュニティバスにGPS等を搭載し、渋滞や雨などの理由によりバスが遅延している等の運行状況や位置情報を利用者がリアルタイムで確認することができるもの。</p> <p>バスの運行状況等を可視化することで、バスの利便性が向上するとともに、利用者が運行状況に応じた交通手段を選択することが容易になり、ひいては市内全体の公共交通の利用促進を見込むもの。</p>		
具体サービス	<p>【バスロケーションシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> バスのリアルタイム運行状況等を利用者に提供するもので、下記3つの機能により構成される。 ①運行状況等通信機能 <ul style="list-style-type: none"> GPS等の機能により、バスの位置情報データをサーバに送信する。 位置情報データを送信する際、系統・ルート等の基礎運行情報を紐づけし、併せて送信する。 ②運行状況等処理機能 <ul style="list-style-type: none"> 運行状況等通信システムから受信した位置情報データ等を遅延情報等に変換する。 ③運行状況等確認機能 <ul style="list-style-type: none"> 処理システムで変換した位置情報や遅延情報等を、利用者のスマートフォン・PC等から確認できるよう表示する。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①バスロケーションシステムへのアクセス数 ②運行状況に関する電話問い合わせ件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者満足度 ②公共交通利用者数 	

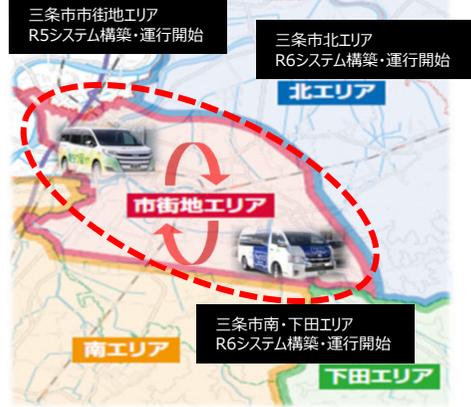
事業概要 【デマンドタクシーWeb予約システム導入推進事業】

実施地域	千葉県多古町の全域	事業費	2,113千円
実施主体	千葉県多古町	人口	13,818人(R4.12.1現在)
事業概要	<p>運転ができない高齢者等（高校生以下を除く）を対象として平成24年度より町内を運行しているデマンドタクシーについての乗車予約ツールは、現在、電話のみとなっている。また令和5年1月から中学生を対象にデマンドタクシーを活用した登下校での実証運行を開始したことから住民の多くが日常生活において使用している携帯電話等から予約可能なWeb予約システムを導入し、予約ツールを増やすことにより住民の利便性向上を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【デマンドタクシーWeb予約システム】 携帯電話等からWebで乗車予約ができる</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①Web予約システム利用回数 ② ③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デマンドタクシーの利用満足度 ②デマンドタクシー新規利用登録者数 ③</p>	

事業概要 【認知機能検査用タブレット端末の導入】

実施地域	東京都	事業費	23,815千円
実施主体	警視庁運転免許本部	人口	14,034,861人 (R5.1.1現在)
事業概要	<p>75歳以上の運転免許保有者が免許更新時に義務付けられている認知機能検査について、今後、増加する高齢免許保有者の良好な免許更新環境の整備に対応するため、現在紙ベースで行っている検査をタブレットを用いた検査にすることで、検査関係事務の効率化及び受検者の負担軽減を図る。</p>		
具体サービス	<p>認知機能検査が現行の紙ベースからタブレット端末に変わること、受検に係る所要時間が短縮され、受検者の負担軽減となる。</p> <p>問題用紙、採点用紙、採点補助用紙をデジタルシフトすることで、ペーパーレスを図り、保存スペースも不要となる。</p> <p>検査数の底上げ、採点業務の効率化、結果登録の自動化など業務の効率化を図る。</p> <p>機器による検査のため、検査にムラがなく、均一な検査の実施ができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <h3 style="text-align: center;">システム構成図</h3> <p>The diagram illustrates the system setup. At the top left, there is a reception counter labeled '受付' (Reception) with a tablet icon. To its right is a server/PC system with a monitor, keyboard, and printer. Further right are three tablet devices connected to power. Below these are two rows of four tablet terminals each, each equipped with a headset, representing the examination stations.</p> </div>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①認知機能検査実施数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①検査時間（受検者の負担軽減）</p> <p>②受検者の満足度調査</p> <p>③</p>	

事業概要 【AIオンデマンド交通システム導入事業】

実施地域	新潟県三条市、市街地エリア	事業費	44,308千円
実施主体	三条市地域公共交通協議会	人口	93,529人(R4.12.1時点)
事業概要	<p>平成23年度に本格運行を開始した当市のデマンド交通「ひめさゆり」は、アナログ式の予約・配車システムによる非効率な運行やコロナ禍による大幅な利用者の減少などの課題を抱えている。これに対し、AIオンデマンド交通システムを導入することで、利便性と市民満足度の向上を図るとともに、応えきれていない移動需要などにも対応する。また、運行の適正な管理と効率化、デジタル基盤の強化等を図ることで、持続可能な公共交通体系を構築する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【AIオンデマンド交通システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、アプリケーションまたは電話で予約し、乗降拠点から乗車 ・予約は、リアルタイム予約のほか、アプリケーション、LINEを活用した24時間予約が可能 ・予約状況に応じてAIが最適なルートを生成し、運行事業者に対して、効率的な配車指示を実施 ・AIの活用により、効率的な乗合を実現するとともに、精度の高い出発・到着時刻見込を利用者に提示 ・運行内容の詳細がデータとして蓄積されるため、適切な運行管理が可能となるほか、利用状況分析による運行内容の改善等へのマーケティング活用が可能 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>アプリ/電話/LINEで予約</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>AIがリアルタイムで配車指示</p>  </div> </div> <p>→</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><運行イメージ></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><エリア図></p>  </div> </div>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①AIオンデマンド交通利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者満足度</p>	

事業概要 【AIオンデマンド交通運行事業】

実施地域	新潟県柏崎市、都市計画区域・立地適正化区域	事業費	64,940千円
実施主体	新潟県柏崎市	人口	79,069人
事業概要	AIオンデマンドシステムを活用した新たな乗合交通を運行し、既存の路線バスや鉄道などの組み合わせにより、地域の生活の足を確保するとともに、持続可能な公共交通ネットワークの実現を目指す。		
具体サービス	<p>【AIオンデマンド交通運行事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIオンデマンドシステムを活用した効率的な乗合交通 運行区域は、都市計画区域・立地適正化計画区域（88.2km²） 事前予約制（予約方法は、電話、スマートフォンアプリ、LINE） 区域運行：運行区域内であれば、乗継なしで目的地に移動が可能 指定の乗降ポイントでの乗り降り  <p>乗客はスマートフォンや電話から乗車予約</p> <p>AIによる決定</p> <p>相乗りにより、効率的な運行を実現</p> <p>予約に応じて、その都度最適な運行ルートを設定</p> <p>資料：国土交通省（一部改）</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新交通システム予約アプリのダウンロード累計数 [件] ②柏崎市公式LINEアカウントのユーザー件数 [件] ③新交通システム説明会参加者数（累計） [人] ④AIオンデマンド交通利用者数 [人] 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民一人当たりの地域公共交通の利用回数 [回/年] ②収支率 [%] ③利用者1乗車当たりの柏崎市の財政負担額 [円/年] ④AIオンデマンド交通利用者の満足度 [%] 	

事業概要 【予約制乗合ワゴン車運行システム再構築事業】

実施地域	新潟県燕市・弥彦村	事業費	7,884千円
実施主体	燕・弥彦地域公共交通会議	人口	燕市77,445人 弥彦村7,686人
事業概要	<p>燕市・弥彦村では、平成26年から燕・弥彦地域公共交通会議を設置し、公共交通を運営してきた。中でも、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、高齢者や学生など、交通弱者の生活の基盤としての役割を果たしている。一方で、予約受付センターは電話受付のみとなっており、混雑・集中による利便性の低下が課題となっている。本事業では予約システムを再構築するとともに、オンライン予約にも対応することで地域交通の利便性を高めることを目的とする。</p>		
具体サービス	<p>【デマンド交通システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話予約のほか、WEBサイトまたはアプリによるオンライン予約に対応 ・予約状況は、WEBサイト、アプリ、または自動返信メールにて確認可能 ・オペレーターが予約者の行先を入力すると、ワゴン車の車載機（タブレット）に乗車場所・乗車時間・行先情報をリアルタイムで共有 ・他の予約の行先を判別し、最も効率の良いルートをドライバーに提示することができ、スムーズな配車が可能 ・簡易なメッセージをオペレーターからドライバーの車載機へ通知可能 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 予約制乗合ワゴン車の利用登録者数 ② 予約制乗合ワゴン車のオンライン予約件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>予約制乗合ワゴン車のオンライン予約者の満足度</p>	

事業概要 【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

実施地域	新潟県阿賀町	事業費	60,000千円
実施主体	新潟県阿賀町、株式会社NEXT DELIVERY	人口	9,811人 (R4.12.1)
事業概要	<p>阿賀町は、町中心部から遠い山間部に散在する集落が多いことから、高齢者の日用品などの買物・医療へのアクセスについて、歩く以外の効率的な手段を提供することが課題となっている。このような課題を解決するため、処方医薬品の配送や買い物支援など、様々な用途でドローンを生活スタイルに活用するシステムを構築し、住民の利便性を向上させ、持続可能な地域実現を目指すための「新スマート物流SkyHub®」の実装を行う。</p>		
具体サービス	<p>地区内に拠点とドローン着陸ポイントを設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。悪天候時や重い荷物、人が運んだ方が効率的な場合は陸送</p> <p>【ドローンを組み合わせた配送サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買い物代行サービス • 医薬品配送 • 共同配送（各社が赤字で運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算性を確保し、地域のドライバー不足解消を図る） <p>【配送管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 陸送とドローン配送の管理システム • ドローンが運んだ方が効率的な場所、荷物量をシステムで管理 	<p>○買い物代行サービス</p>  <p>タブレットによる商品注文 → ドローン配送 → 商品受取</p> <p>○医薬品配送サービス</p>  <p>オンライン服薬指導 → ドローン配送 → 処方薬受取</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送サービス運航日数 ②共同配送同意企業 ③連携する飲食・商店数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローンの配送サービス利用者数 ②利用者満足度調査への好意的意見の割合 ③ドローンのルート開拓 	

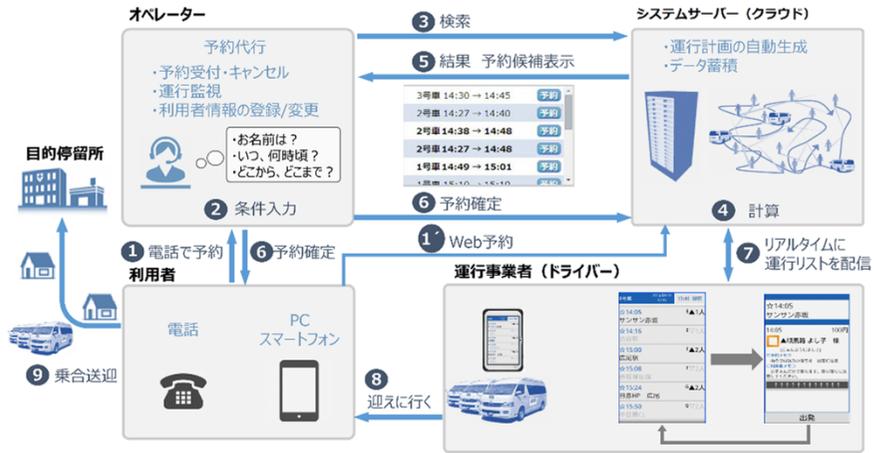
事業概要 【ウェルビーイングを実現する地域モビリティサービス構築事業】

実施地域	富山県	事業費	25,000千円
実施主体	富山県、富山myroute推進協議会、富山地方鉄道株式会社	人口	1,014,986人（R4.12.1）
事業概要	富山県地域交通戦略の基本的な方針・考え方を踏まえ、ウェルビーイングの実現につながる地域モビリティサービスを構築するため、デジタル技術等を活用した取組みを推進するもの		
具体サービス	<p>【富山県MaaS環境構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MaaSアプリと県内全域のバス運行情報を提供する「とやまロケーションシステム」とのデータ連携の実装に必要なシステム開発 <p>【データ活用交通サービス改善事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の位置情報、遅延情報等の提供 ・バス遅延情報等の集計・可視化に向けたシステム開発及び交通事業者への操作研修 	<p>【富山県MaaS環境構築事業】</p>  <p>【データ活用交通サービス改善事業】</p> 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①MaaSアプリにおいてリアルタイム運行情報を配信する交通モード数 ②MaaSアプリにおいて運行情報を利用する人数 ③遅延データに基づいたダイヤ改正の系統数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①MaaSアプリの利用満足度（利用者、事業者） ②MaaSアプリの日当たり利用者数（富山県内） ③とやまロケーションシステムの閲覧数 	

事業概要 【MaaSの実装によるデマンド型地域交通システム最適化事業】

実施地域	富山県高岡市	事業費	4,812千円
実施主体	地域住民、株式会社博報堂、高岡市、高岡交通株式会社	人口	165,714人
事業概要	<p>MaaSシステムの実装により、地域が主体となって運営するデマンド型地域交通の利便性向上と協力事業者の労務負担の軽減を図る。LINEによる予約や運行情報の確認、公共交通機関の時刻表確認など利用環境の改善に繋がるほか、外出促進につながる情報配信の実施により移動総量の増加が期待できる。運営面では運行管理業務や予約入力業務の労務負担が軽減されることが期待できる。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【XT.H Mobilityシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)博報堂が開発し、マイカーを使った乗合交通サービス「ノッカルあさひまち」「ノッカル中田」に使用しているMaaSシステム。 ・ 予約管理、ドライバー向け、利用者向けの3つのシステムから構成。 ・ システムの導入により、LINEによる予約や、リアルタイム運行情報の確認、各公共交通機関の時刻表確認などが可能となる。 ・ その他、情報配信やクーポン機能の付加も可能。 ・ LINEで予約されたものはシステムに即時反映されるため、予約を受付するオペレータの入力業務が減少する。 	<div style="text-align: center;"> <p>XT.H Mobilityシステム</p>  <p>地域が運行するデマンド型交通に実装</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">利用者の 利便性向上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">予約入力業務 の軽減</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">情報発信による 外出促進</div> </div> </div>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①MaaSシステムの導入地区数 ②各地区のデマンド型交通公式アカウントの友だち登録数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①MaaSシステム導入地区のデマンド型交通利用者数 ②市民協働型地域交通システムの利用者満足度 	

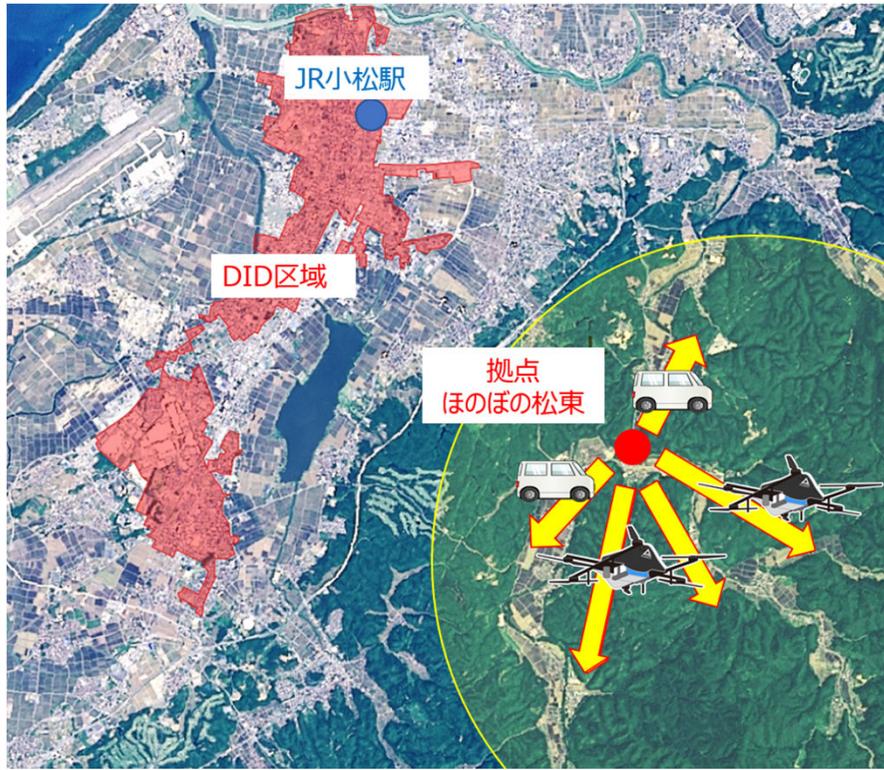
事業概要 【メルヘンのまち・おやべを行き交うAIオンデマンドモビリティ導入事業】

実施地域	富山県小矢部市全域	事業費	37,401千円
実施主体	富山県小矢部市等	人口	28,602人
事業概要	市営バスについて、『高齢者等の移動需要に対応し、効率的でムダの少ない運行を可能とする「区域運行型のオンデマンド交通」を主体とした運行形態への転換を図る』ことを目指し、A I を活用した区域運行型のオンデマンド交通の構築を図るもの。		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【A I 配車システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者はスマートフォンアプリやコールセンターへの電話にて乗車の予約を行います。 デマンド運行システムでは、予約を受け付け、その後A I を活用して運行ルートを作成し、効率的な配車を行います。 利用者やドライバーに運行ルートや現在地等を表示することも可能となります。 <p>【キャッシュレス決済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者は、交通系ICカードやクレジットカードで乗車時決済や事前決済ができます。 将来的には、地域ポイントの連携も可能となります。 </div> <div style="flex: 2;">  <p>The flowchart illustrates the AI on-demand mobility system. It shows the interaction between the Operator (オペレーター), System Server (システムサーバー), User (利用者), and Driver (運転事業者). The process starts with a user making a reservation (1) via phone or PC. The operator then inputs conditions (2) and searches (3) for available vehicles. The system server automatically generates a route plan and stores data (4). Results are displayed to the operator (5), who confirms the reservation (6). The driver receives real-time route information (7) and picks up the user (8). Finally, the user is dropped off (9).</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① A I オンデマンド交通利用者数 ② アプリ等会員登録者数 ③ A I オンデマンド交通W E B 予約数 <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者運転免許証自主返納者支援事業申請者数 ② A I オンデマンド交通利用者アンケートによる満足度 ③ 市民の「交通体系の充実」に対する不満者の割合 		

事業概要 【コミュニティバス転換型AIオンデマンドバス運行事業】

実施地域	富山県射水市	事業費	41,095千円
実施主体	富山県射水市	人口	91,456人 (R4.12.31現在)
事業概要	<p>AI オンデマンドバス（利用者の予約に応じて、AI がリアルタイムで経路を選び走行する乗合のデマンド型交通）を運行し、生活や観光移動の利便性向上や、現在、終日運行しているコミュニティバスとの役割分担（コミバスを定時運行が求められる朝夕の通勤・通学時間帯のみ運行とする）による経費の節減を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【AIを活用した乗合オンデマンドバス運行システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『乗りたい時に乗れる運行』 アプリ（市公式LINE、専用アプリ）で、いつでも予約可能。オンデマンド&区域運行により、乗りたい時に最寄りのバス停から利用できる。キャッシュレス決済にも対応。 利便性の向上により、満足度を高める。 『最適ルートで効率的な運行』 AIを活用し、リアルタイムに最適なルーティングを行い、乗合配車と運行指示を実施。高密度輸送により、一定の輸送量が必要な既存コミュニティバスからの運行システムの移行を実現。 無駄のない配車により、運行経費を削減し、持続可能な運行体制を確保。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンドバス利用人数（人） ②AIオンデマンドバス運行エリア面積（km²） ③アプリからの予約件数（%） 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンドバス利用者の満足度（%） ②高齢者運転免許自主返納者数（人） ③ 	

事業概要 【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

実施地域	石川県小松市 松東地区	事業費	40,000千円
実施主体	株式会社NEXT DELIVERY	人口	106,488人
事業概要	<p>中山間地域である松東地区では、令和4年12月1日より路線バスが廃止され、日用品の買い物や医療へのアクセスについて、今後ますます高齢化が進み、大きな地域課題となっている。</p> <p>そこで、市街地と変わらない生活利便性を中山間地域に提供するため、店舗・企業等で仕入れた商品を、ドローン・陸送で最速15分で届けるサービス（民間主体）を実装する。</p>		
具体サービス	<p>様々な用途でドローンを活用するシステムを実装、住民の利便性向上と持続可能な地域を目指す。</p> <p>→地区内に「拠点」と「ドローン着陸ポイント」を設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。</p> <p>→ドローンで運ぶことのできないもの（重いもの）や悪天候の際は陸上配送でサービスを確認。</p> <p>【検討中の配送サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買い物代行サービス（注文アプリの運用） • 医薬品配送 • 共同配送（運送会社が運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算確保と地域のドライバー不足解消に貢献） <p>【配送管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 陸送とドローン配送の管理システム • 効率的な配送（場所、荷物量）を選択 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①ドローン配送を行った日数 ②共同配送同意企業 ③連携する飲食店・商店の数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①地域でドローン操縦できる人材の人数 ②拠点での新規雇用人数 ③買い物代行サービスを利用した人の満足度</p>	

事業概要 【小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業】

実施地域	石川県小松市	事業費	132,924千円
実施主体	石川県小松市	人口	106,488人
事業概要	<p>本市は、2024年春に新幹線駅と空港を擁する都市となり、北陸屈指の交通結節点としての役割を担っていく。今後、移動環境向上に向けた都市機能強化や、まちなかへの人流拡大による地域発展が重要テーマとなると共に、バス運転手不足への対応も求められる。これらの課題に対し、本事業は、自動運転バスを広域移動の基幹となる新幹線駅・空港を結ぶ路線に導入し、「持続可能な未来型交通システム」として地域実装を目指すものである。</p>		
<p>以下システムを一体的に運用し、自動運転バスの路線バスとしての定常運行を実現する。</p> <p>【自動運転システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度3次元地図データとLiDARのセンサーデータのマッチングにより自己位置を推定し、車両周囲の環境データを踏まえて運行経路をプランニングして車両の運転を制御 自動運転レベル2又は3による運行とする <p>【遠隔監視システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠隔からダイヤに沿った走行の指示 遠隔からの状態監視（速度、車両の状態、車内外の映像）や緊急時対応を実施 <p>【キャッシュレス決済システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的な完全自動運転での運行や、利用者層（都市圏からの来訪者）を踏まえ、交通系ICカードによる支払いに対応 	<p>自動運転バス (EV)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動運転レベル2又は3による定常運行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行速度：最高 40km/h ・ 片道 4.4km を約 15 分で接続 ・ 令和7年度以降 自動運転レベル4へ ○ 快速便（途中停留所なし）として運行 ○ キャッシュレス決済対応（利便性+将来の無人運行への対応） ○ 車内放送多言語対応 <p>東京、札幌、福岡、那覇、ソウル、上海、台北</p> <p>高精度3次元地図</p> <p>リスクマネジメント</p> <p>事業の安心・安全</p> <p>まちなかへの人の流れ創出</p> <p>地域の理解 自動運転車両（公共交通）と共存するまち</p> <p>観光業</p> <p>飲食業</p> <p>宿泊業</p> <p>至 福井</p> <p>運行事業者</p> <p>クラウド</p> <p>交通結節点 都市機能強化による移動環境向上</p> <p>遠隔監視システム</p> <p>至 金沢、富山、長野、東京</p> <p>小松空港</p> <p>自動運転システム</p> <p>JR 小松駅</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自動運転バス乗車人数（人／年） ②駅－空港間1日平均バス利用人数（人／日） 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空港連絡バス利用率（％） ②小松駅周辺滞在者数（来訪者流動人口）（万人／年） ③自動運転バス利用者満足度（ポイント）

事業概要 【津幡町AIオンデマンドバス導入事業】

実施地域	石川県 津幡町	事業費	68,103千円
実施主体	石川県 津幡町	人口	37,546人※令和4年12月1日時点
事業概要	<p>長年町内移動は公共交通である町営バスが担ってきたが、昨今の公共交通離れやコロナの影響により利用者が減少している。しかし、今後のアフターコロナ対応やカーボンニュートラルに向け、公共交通として町営バスの継続的運行は不可欠であり、「利便性向上による利用促進」及び「効率性向上による継続的な運行の確保」が課題となっている。これらの課題解決のため、AI技術を活用した従来の交通にはない高い移動の自由度と効率性が得られる「AIオンデマンドバス」を町営バスの一部区域において代替する形で導入するもの。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【「AIオンデマンドバス」の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車 ・AIによる最適な運行ルートを走行 <p>【運行時間】 7時～19時（予定）</p> <p>【運行区域】 既存町営バス路線のうち、井上線、潟端線、太田線、緑が丘線、領家線がカバーする<u>平野部エリア</u></p> <p>【期待する効果・メリット】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町民や来訪者の移動利便性の向上 (目的地への直通性向上、待ち時間（運行便数）の改善等) ②効率性の向上（≒町負担の低減⇒継続的な運行の確保） ③環境負荷の軽減（CO2削減試算：39t/年） 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンドバス利用者数 ②町営バス+AIオンデマンドバスに対するランニングコスト 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンドバス利用者満足度 ②鉄道の日平均利用者数 	<p>【運行エリア図】</p> <p>● 運行エリア ● 既存町営バス停 ● 既存福祉バス停</p>

事業概要 【認知機能検査用タブレット整備事業】

実施地域	福井県	事業費	9,675千円
実施主体	福井県	人口	751,761人
事業概要	75歳以上の高齢運転者が運転免許の更新時等に受検しなければならない認知機能検査の実施に、タブレットを導入し、所要時間の短縮や感染症リスクの低減を図るもの。		
具体サービス	<p>【タブレット機器を用いた認知機能検査のサービス】</p> <p>認知機能検査に専用タブレットを導入することにより、</p> <p>①受検者全員を集合させての一斉実施から、個人別の実施の実現</p> <p>②タブレットによるリアルタイムな自動採点が行われることによる所要時間短縮及び採点業務の効率化</p> <p>③タブレットが個別に進行することにより、集団進行が不要となることによる、検査室における密の回避と、進行业務の省力化が図られるもの。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①タブレットの利用者数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①受検者の利便性の向上(検査に要する所要時間)</p> <p>②タブレットの利用満足度（受検者）</p> <p>③</p>	

事業概要 【松本地域交通決済キャッシュレス化推進事業】

実施地域	長野県松本市、朝日村、山形村地区等	事業費	62,750千円
実施主体	長野県松本市	人口	236,550人
事業概要	<p>松本市総合交通戦略に基づき、先端技術を活用し、松本地域路線バスにキャッシュレス決済を導入することで、利用者の利便性向上及び交通事業者の経営効率化（データ取得等）による、地域公共交通の確保・維持を図る。令和4年4月1日から、有限会社和晃（本社：長野県坂城町）が開発するQRコード決済アプリ「TicketQR」を活用し、市街地循環線「タウンズニーカー」で実証実験を開始。令和4年8月に実施したアンケート等から「路線拡大」の要望が多数寄せられていることから、令和5年10月からの「まつもと公設民営バス事業運用」に合わせ、現在のタウンズニーカーから、隣接する朝日村、山形村との接続路線を含めた全線に拡大する。さらに、現在のQRコードを活用したスマホアプリ方式を基本とし、初期設定不要なクレジットタッチ決済の導入など、他方式への機能拡充を図る。</p>		
具体サービス	<p>【路線バスのキャッシュレス化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホアプリ方式（QRアプリ） ・ 路線の拡大 ※ 現在4路線→33路線 <p>【インストール、初期設定不要の方式の機能拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クレジットタッチ決済併用への機能拡充 	 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① キャッシュレス対応路線数：33路線 ② キャッシュレス機器搭載車両数：78台 ③ 路線バスキャッシュレス利用率：10% 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① キャッシュレス利用者満足度：満足と回答50% ② ③ 	

事業概要 【AIオンデマンド交通導入事業】

実施地域	長野県松本市、南部エリア及び西部エリア	事業費	56,190千円
実施主体	長野県松本市	人口	236,550人（R4.12時点）
事業概要	<p>市内にある交通空白地解消及びコミュニティバスの代替を目的とし、デジタル技術を活用したAIオンデマンド交通を導入し運行するもの。サービス導入により、交通困難者の買い物や通院等、生活に必要な地域内移動や市街地への移動手段を確保する。また、時間、ルートが決まっている定時定路線バスと違い、リクエストによる運行ができるため、運行効率と利用者の利便性向上が期待できる。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【AIオンデマンド交通】</p> <p>利用者がスマートフォンアプリ、または電話予約により、出発地と到着地を登録。予約によりバスが利用者をピックアップし、AIシステムにより最適なルートを設定し、目的地まで運行する。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1日あたりの利用者数 ②アプリでの予約割合 ③AIオンデマンド交通導入検討エリアの数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド交通の利用満足度 ②今後もAIオンデマンド交通を使いたいと思う利用者の割合 	

事業概要 【自動運転サービス構築事業】

実施地域	長野県塩尻市	事業費	20,000千円
実施主体	長野県塩尻市	人口	66,142人 (2022.12.01)
事業概要	<p>市内市街地の生活道路において自動運転サービスの社会実装を行う。MaaS実証等を基に需要に応じた自動運転サービスのルート設計等、デジタルによるサービスの高度化をとおして地域における利便性の高い移動サービスとして実装し、地域交通サービスの本数や交通の種類の選択肢の増加により、市民サービスを向上させる。運行にあたっては地域人材を活用し、安心安全な自動運転サービスとすることで社会受容性を向上させる。</p>		
具体サービス	<p>【自動運転サービス社会実装】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内市街地の生活道路における自動運転サービスの社会実装を行う MaaS実証等を基に需要に応じた自動運転サービスのルート設計等、デジタルによるサービスの高度化をとおして地域における利便性の高い移動サービスとして実装する。 既存地域振興バスを含めた地域交通サービス（ルート、運行本数）を増加させ、社会実装の効果として市民サービスを向上させる 実装にあたっては地域人材が自動運転サービスの運行を担い、安心・安全な自動運転サービスとして社会実装することにより、自動運転に対する社会受容性を向上させる 	<p>既存公共交通 JR すてっぷくん 一般タクシー</p> <p>+</p> <p>自動運転サービス</p> <p>↓</p> <p>デジタルを活用した利便性の高い移動サービスを実現</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自動運転サービスの利用者数 ②地域人材により運行が可能な自動運転ルート数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①塩尻市での暮らしに対する満足度 ②快適で魅力ある中心市街地が形成されていると感じる市民の割合 ③必要な交通網が整備されていると感じる市民の割合 	

事業概要 【デマンド交通AIシステム導入事業】

実施地域	長野県東御市	事業費	29,219千円												
実施主体	長野県東御市、東御市商工会	人口	29,550人												
事業概要	<p>本市のデマンド交通は利用者数が減少傾向にあり、様々な課題が浮き彫りになっている。これから超高齢化社会による交通弱者の増加が見込まれ、市民ニーズに応じた運行形態が求められている。スマートフォンの普及により、AIシステムを導入し、さらなる利便性の向上を図るとともに、事業主体(市)が、新システムと併せて経年劣化した車両を一新することで、利用者の獲得を図り、時代に即した誰もが利用しやすい持続可能な移動手段を構築する。</p>														
具体サービス	<p>【AI活用型オンデマンド交通システム導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIによる運行ルートや配車指示等の最適化による待ち時間及び乗車時間の短縮 出発・到着時間の見える化 スマートフォンアプリからの予約（24時間可能） リアルタイム予約 非接触型決済（クレジットカード）や電子決済システムの搭載 <p>【車両購入】</p> <ul style="list-style-type: none"> フルラッピングによる新システム導入の周知効果 環境性能の高い新車両への更新 利用者が安心して乗れる車両の確保 	<p>AI活用型オンデマンド交通システム イメージ図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現行デマンド交通の課題</th> <th>AIシステム導入によるメリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利便性面での課題</td> <td>利便性の高いAIを活用した予約システムの導入</td> </tr> <tr> <td>①1時間毎の便制運行、方面が固定</td> <td>①ダイヤ無し、方面指定無しのフルデマンド化</td> </tr> <tr> <td>②事前に電話による予約受付のみ</td> <td>②アプリ・WEB・電話で即時・事前に対応可</td> </tr> <tr> <td>③出発・到着時間の見込みが不明</td> <td>③アプリで事前に出発・到着時間を案内</td> </tr> <tr> <td>④区域外に対しては乗り継ぎが発生</td> <td>④エリア統合し、運行区域拡大⇒乗り継ぎ不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>AIによる効率的なルート生成・配車指示 ⇒ 待ち時間・乗車時間の短縮</p>  <p>スマートフォンを使った予約決済システム (24時間対応可能)</p>		現行デマンド交通の課題	AIシステム導入によるメリット	利便性面での課題	利便性の高いAIを活用した予約システムの導入	①1時間毎の便制運行、方面が固定	①ダイヤ無し、方面指定無しのフルデマンド化	②事前に電話による予約受付のみ	②アプリ・WEB・電話で即時・事前に対応可	③出発・到着時間の見込みが不明	③アプリで事前に出発・到着時間を案内	④区域外に対しては乗り継ぎが発生	④エリア統合し、運行区域拡大⇒乗り継ぎ不要
現行デマンド交通の課題	AIシステム導入によるメリット														
利便性面での課題	利便性の高いAIを活用した予約システムの導入														
①1時間毎の便制運行、方面が固定	①ダイヤ無し、方面指定無しのフルデマンド化														
②事前に電話による予約受付のみ	②アプリ・WEB・電話で即時・事前に対応可														
③出発・到着時間の見込みが不明	③アプリで事前に出発・到着時間を案内														
④区域外に対しては乗り継ぎが発生	④エリア統合し、運行区域拡大⇒乗り継ぎ不要														
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1日当たりの利用者数 ②アプリによる予約数の割合 ③市民説明会の実施回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者アンケートで満足と回答する割合 													

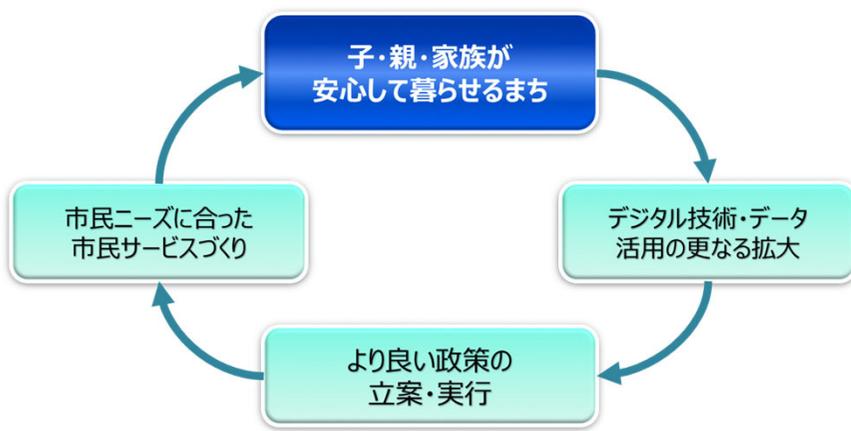
事業概要 【安曇野市地域公共交通DX推進事業】

実施地域	長野県安曇野市	事業費	27,560千円
実施主体	長野県安曇野市	人口	96,647人
事業概要	<p>少子高齢化の進行、運転免許証自主返納の増加により、公共交通の利用ニーズが高まっている。一方で、市民や来訪者（観光客）の移動実態は目に見える形で把握できておらず、ニーズが不明瞭な状態である。移動データを収集・分析し、当地域に最適な公共交通ネットワークを構築するとともに、必要なサービスを提供する。また、公共交通が持つ移動手段としての役割に加え、新たな役割（移動特性を活かした「動く位置情報拠点」）を付与することで、公共交通の存在意義を高める。</p>		
具体サービス	<p>【人流データを活用した地域活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルツールを活用した市内の人流データ収集 公共交通の利用データ収集、分析 ダッシュボードの構築、公開（サービス展開） <p>【地域見守りサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の移動特性を活かした地域の子どもや高齢者の見守りサービスを導入 サービス導入エリア内の移動データを収集 <p>【観光オンデマンドバス運行】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客等来訪者をターゲットとしたAI活用型オンデマンドバスを導入 	<p>【人流データ】 地域における移動データの活用・普及</p> <p>【見守りサービス】 公共交通の新たな役割 社会受容性の向上</p> <p>【観光オンデマンド】 デジタル技術を活用し シームレスな移動を提供</p> <p>【地域公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最適化を推進 価値、必要性を再認識 デジタル技術の更なる活用 広域圏でのMaaS導入 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民、来訪者等別の移動データ数 ②見守りサービス利用者数 ③観光オンデマンドバス利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ダッシュボード構築 ②利用者の満足度 ③利用者の満足度 	

事業概要 【M a a S 推進に係るAIオンデマンド交通導入・運用事業】

実施地域	静岡県富士市	事業費	18,246千円
実施主体	静岡県富士市	人口	249,322人 (R4.12.1)
事業概要	<p>本市においては、利用者減少等を背景とした地域公共交通の持続性が低下し、それに伴う路線の減便などにより利便性の低下を招いている。そこで、M a a S 推進の一環としてA I オンデマンド交通を効果的に導入・運用することにより、交通利便性を向上させ公共交通の利用促進を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【A I オンデマンド交通システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビッグデータを活用した効率的かつ効果的な運行計画策定 • 上記に合わせたA I オンデマンド交通の運行システムを構築 • A I オンデマンド交通の運行システムを実装 • 上記に並行して市民に向けた広報 	<p>「まちづくり」と「ネットワーク」をキーワードに展開</p> <p>既存の公共交通（路線バス・コミバス・デマタク・鉄道等）</p> <p>令和5年度事業：A I オンデマンド交通の運行等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市の自主運行路線へのA I オンデマンドの先行導入 ▶ 自動運転のデモ走行 <p>A I オンデマンド交通の波及、自動運転の実証運行</p> <p>その他、連携して諸事業を展開し、バランスのとれた都市交通体系を実現 (例) M a a S アプリの導入、交通と観光の強固な連携、シェアサイクルの導入 など</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① A I オンデマンド交通アプリダウンロード数 ② A I オンデマンド交通利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① A I オンデマンド交通利用者満足度 	

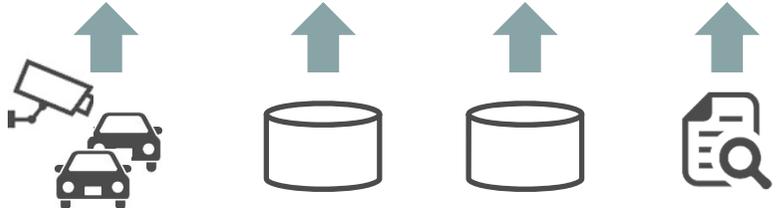
事業概要 【デジタル技術・データを活用した交通安全対策事業】

実施地域	静岡県裾野市	事業費	2,068千円
実施主体	静岡県裾野市、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社等	人口	49,689人
事業概要	<p>本事業は2022年7月より開始した「データを活用した交通安全対策の立案・検証」を発展、高度化し、従前の事故が発生した後の交通安全対策から事故が起こる前の交通安全対策へのシフトを図ることで、子・親・家族が安心して暮らせる裾野市の実現を目指す。</p>		
具体サービス	<p>【交通安全対策の立案・検証支援サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全課題を抱える市内交差点等について、デジタル技術を用いた危険挙動分析を実施 分析結果レポートを交通安全対策の基礎資料として活用することで、客観的データに基づく交通安全対策の実施につなげ、市民の安全を守る さらに、分析結果レポートを教育機関等に提供することで、客観的データに基づく安全点検の高度化を図り、次代を担う子どもの安全を確保する 	<p>日本一市民目線の市役所を目指して</p>  <p>静岡県 Susono City 裾野市</p>  <pre> graph TD A[デジタル技術・データ活用の更なる拡大] --> B[より良い政策の立案・実行] B --> C[市民ニーズに合った市民サービスづくり] C --> D[子・親・家族が安心して暮らせるまち] D --> A </pre>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分析結果を活用した交通安全対策の提案数 ②データを活用した交通安全教育等の実施数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市内の人身交通事故発生件数 ②分析結果に基づく交通安全対策の実施数 	

事業概要 【ノッカルひがしいず】

実施地域	静岡県東伊豆町内	事業費	4,700千円
実施主体	東伊豆町	人口	11,390人（1月末時点）
事業概要	<p>実施地域においては将来に渡り持続可能な形での、地域住民の買い物等の生活のための公共交通手段の確保が急務である。</p> <p>本事業では、すでに他の自治体（富山県朝日町「ノッカルあさひまち」）で実装中の優良事例を、当町の実情に即した形として導入することで、効率的かつ効果的に課題の解決を図るものである。</p>		
<p>運行管理・配車予約システム</p> <p>【運行管理システム】 運行連絡 / シフト連絡 / 位置情報送信 予約内容確認 / シフト確認 / リクエスト確認</p> <p>【配車予約システム】 会員登録（※利用者は事前に登録必須） ルート表示 / ドライバー情報 / 予約 / リクエスト コース情報 / リアルタイム運行情報</p> <p>具体サービス</p>	<p>移動サービス利用の流れ</p> <pre> graph LR A[利用者希望者] -- "①利用登録・配車予約 (必要に応じ、窓口でサポート)" --> B[配車予約システム・配車予約] B -- "②予約通知・確認" --> C[オペレーター] C -- "③配車指示" --> D[配車担当] D -- "④配車・送迎" --> A B -.-> E[利用・相談窓口 (必要に応じて)] E -.-> B </pre>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①配車予約システム登録者数 ②停車駅設置数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①移動サービスの総合満足度 ②「移動が支援されている」と感じる人の割合</p>	

事業概要 【リアルタイム混雑情報提供サービス実装事業】

実施地域	愛知県岡崎市乙川リバーフロントエリア	事業費	6,120千円
実施主体	愛知県岡崎市	人口	384,647人
事業概要	<p>本市の中心市街地（乙川リバーフロントエリア）では、これまで都市再生の取組みを進めてきた結果、まちを歩いて楽しむ人の姿が多くなってきたが、その反面このエリアへアクセスする自動車で混雑が目立ってきた。そこで、当該エリアにおけるリアルタイムの混雑情報や駐車場満空情報、予約可能な駐車場情報を提供することにより、渋滞緩和を図る。</p>		
<p>【サービス】 以下、3つを統合して情報発信することで、当該エリアへの自動車アクセス性能向上を図る。</p> <p>① リアルタイム混雑情報（カメラデータ） カメラデータからリアルタイム混雑状況を3段階で判定して発信</p> <p>② リアルタイム駐車場満空情報（民間データ） 民間サイトのリアルタイム駐車場満空情報をAPI接続で取得して発信</p> <p>③ 予約可能駐車場情報（民間データ） 民間サイトの予約可能駐車場情報をAPI接続で取得して発信</p> <p>④ エリア内イベント情報（公園使用許可データ） 整備した広大な公共空間にて公民で行う各種イベント予定データを手動入力で発信</p>		<p>PC、タブレット、スマホからwebブラウザで閲覧・予約可能</p>  <div data-bbox="1196 746 2042 986" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">リアルタイム交通情報提供サービス</p>  </div>  <p>カメラセンサー データ取得・分析</p> <p>民間サイト API連携</p> <p>民間サイト API連携</p> <p>公園使用許可 データ入力</p>	
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該webサイト閲覧件数 ・公共駐車場予約件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該webサイト満足度 ・路線バス遅延回数 	

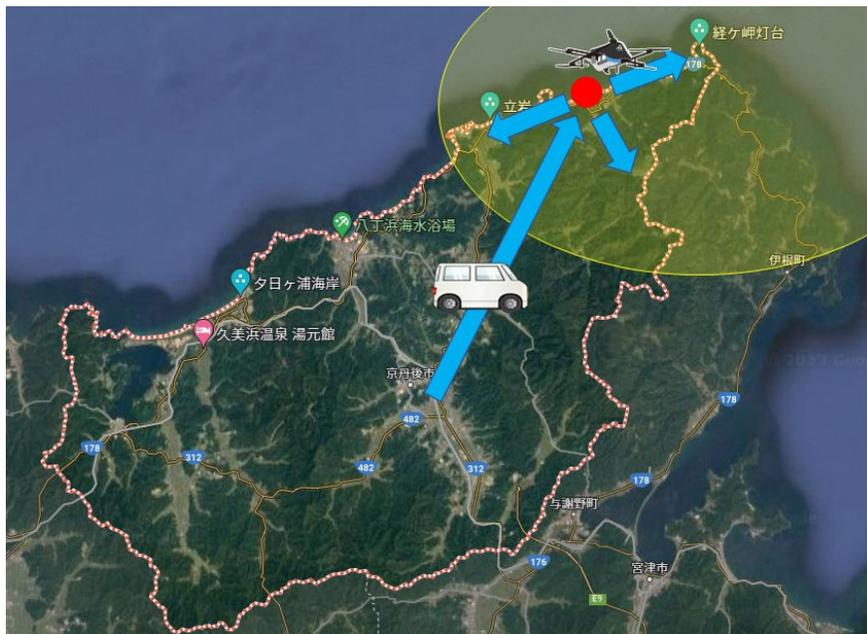
事業概要 【特殊車両通行許可システム登録業務】

実施地域	愛知県弥富市	事業費	13,860千円
実施主体	愛知県弥富市	人口	43,847人
事業概要	<p>制限を超える車両に対して一定条件を付与し、道路の通行を認める制度（特殊車両通行許可）を申請するにあたり、事前にルートの確認、検索を行い、道路管理者ごとに通行可能かどうかを確認する必要がある。この作業をオンライン上で行うには、国土交通省が運営するシステムに市の道路情報を登録しなければならない。しかし、当市は掲載路線数が少なく、申請者からも不満の声があり、今後も申請件数の増加が見込まれる中、申請者の利便性の向上を図るためシステム登録を行う。</p>		
具体サービス	<p>・特殊車両通行許可システム登録業務</p>	<p>The diagram illustrates the registration process in three steps: 1. Application data creation by the applicant (申請者) using a computer. 2. Data transmission via the internet (インターネット) to the application support system (申請支援システム). 3. Reception and review at the application window (申請窓口) by a staff member. The system also includes a reception system (受付システム).</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①国土交通省が運営するシステムへの登録路線数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①当市への照会件数</p> <p>②</p> <p>③</p>	

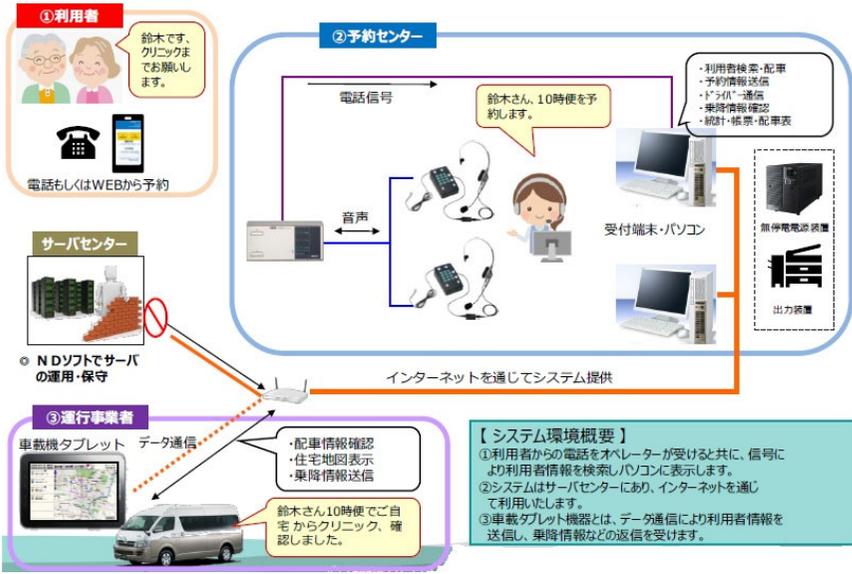
事業概要 【高齢者デジタルライフ・AI共同送迎】

実施地域	三重県いなべ市藤原地区	事業費	30,360千円
実施主体	三重県いなべ市、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、ショッピングリハビリカンパニー、ダイハツ工業株式会社	人口	44,838人 (5,740人藤原地区)
事業概要	<p>・いなべ市藤原地区において、A I を活用した共同送迎運行管理システム“ゴイッショ”を導入することで、介護施設の送迎効率化だけでなく、運転が困難な高齢者等も共同送迎の対象とし、通いの場への移動やショッピング等を支援。免許返納後でも、安心して自立した生活が送れる環境を構築する。</p>		
具体サービス	<p>【A I を活用した共同送迎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A I 共同送迎システムを活用して、介護施設利用者だけでなく、“通いの場”の利用を希望する地域の高齢者を共同送迎の対象とする。 ・ 様々なサービスが享受できる多機能な“通いの場”を送迎付きで利用できる環境を構築。 ・ 介護保険の総合事業として、いなべ市独自にショッピングリハビリも導入し、A I 共同送迎システムによる移動を支援。 ・ スマホで簡単に予約できる仕組みを導入。利用者の乗降車時の確認及び支払い（実装時）は、マイナンバーカードや顔認証システムを活用し、スムーズに運用。 ・ 交通事業者と“通いの場”での接続を促進し、高齢者の外出促進、移動支援。公共交通機関等の利便性向上・利用促進にも取り組む。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①共同送迎サービス延べ利用者数 (介護施設・通いの場への送迎)</p> <p>②共同送迎サービス延べスマホ予約者数 (スマホでの“通いの場”予約数)</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①高齢者の外出頻度</p> <p>②高齢者等の利用者満足度</p>	

事業概要 【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

実施地域	京都府京丹後市 丹後町宇川地区	事業費	40,000千円
実施主体	株式会社NEXT DELIVERY	人口	52,082人
事業概要	<p>京丹後市丹後町宇川地域は人口約1,300人で、市内でも少子高齢化が急速に進む地域であるが、平成31年に域内唯一のスーパーが撤退し、買物弱者の問題が顕在化している。そこで、この地域課題を解決するため、買い物支援など、様々な用途でドローンを活用するシステムを構築し、住民の利便性を向上させ、持続可能な地域実現を目指すための「新スマート物流SkyHub®」の実装を行う。ドローンで運べない重いものや悪天候の際は陸上配送により配送の信頼性を確保する。</p>		
具体サービス	<p>地区内に拠点とドローン着陸ポイントを設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。悪天候時や重い荷物、人が運んだ方が効率的な場合は陸送</p> <p>【ドローンを組み合わせた配送サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買い物代行・フードデリバリーサービス • 共同配送（各社が赤字で運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算性を確保し、地域のドライバー不足解消を図る <p>【配送管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 陸送とドローン配送の管理システム • ドローンが運んだ方が効率的な場所、荷物量をシステムで管理 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送運航日数 ②共同配送同意企業 ③連携する飲食・商店数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送サービス利用者数 ②現地新規雇用数 ③サービスの満足度 	

事業概要 【デマンド（予約）型乗合タクシー運行システム更新】

実施地域	兵庫県丹波市	事業費	29,695千円
実施主体	兵庫県丹波市	人口	61,800人
事業概要	<p>公共交通空白地解消のために平成23年より当市で運行しているデマンド（予約）型乗合タクシーに関して、車両の予約、運行を一括管理するシステムを、より利便性と安全性を備えたシステムへ更新するとともに、Web予約等従来になかったデジタル技術を活用したサービス機能を導入する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【Web予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやパソコン等から予約可能にする。予約方法の選択肢が増えることで、多世代の需要に応えることができる。 Web予約者には車両の運行情報や到着予測時間を知らせる等、待ち時間のストレスを軽減する。 <p>【利用者集計システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシー利用者の年代別、目的地別、曜日別等の集計が行えることで、今後のデマンドタクシー運行計画の参考資料となる。 データ分析による効率的な配車が実現できる。 	 <p>The diagram illustrates the system's data flow. It is divided into three main sections: ① Users (利用者), ② Reservation Center (予約センター), and ③ Operators (運行事業者). - ① Users: Users can make reservations via phone or web. A call example shows a user requesting a ride to a clinic at 10 AM. - ② Reservation Center: The center receives phone signals and processes requests. It uses a server to check availability and send information like driver details and estimated arrival times to the user's phone. - ③ Operators: Operators use tablets to receive reservation data and provide services. They confirm details like vehicle type and driver location to the reservation center. - System Environment: The system is hosted on a server center (ND Software) and connected to the internet. It uses a cloud-based database for reservation management and data collection.</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デマンドタクシーのWeb予約割合 ② デマンドタクシー年間利用者数 ③ デマンドタクシー年代別利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Web予約による配車利用の満足度 	

事業概要 【ビッグデータを活用した生活道路等の交通安全対策検討支援】

実施地域	兵庫県朝来市	事業費	7,777千円
実施主体	兵庫県朝来市、朝日航洋株式会社等	人口	28,748人
事業概要	<p>通学路等生活道路における交通安全の確保に向けて、交通事故情報や民間プローブデータ由来の交通情報等を組み合わせた官民データを整備する。整備データは、市HP及びG空間情報センターへ公開することでデータ利用環境を確保するとともに、データに基づく効果的な対策により交通安全の確保を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>民間プローブデータ活用による交通安全対策の効率化、充実化の検討及び官民オープンマップ整備と外部公開を実現するため以下のサービスを導入する。</p> <p>【プローブデータを活用した交通安全対策支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通危険箇所の把握及び対策効果の検証 官民データによるオープンマップ整備、公開型GISの構築及び市HP公開 	<p>【イメージ図（交通安全対策の例）】</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策DXの基盤となる利活用データ集約件数（件） 公開型GISへのアクセス件数（件） 通学路合同点検への危険マップの活用（件） 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 潜在的な交通危険箇所の交通安全対策実施（箇所） 市の交通安全対策が向上していると感じる市民の割合（ポイント） 	

事業概要 【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

実施地域	和歌山県日高川町	事業費	60,000千円
実施主体	株式会社NEXTDELIVERY	人口	9,379人
事業概要	<p>日高川町では高齢化が進んでいるが、自動車の代替手段がなく、高齢者の悲惨な交通事故が起きるなど、免許返納に向けた買物支援が大きな地域課題となっている。</p> <p>そこで、この課題を解決するため、買い物支援など、様々な用途でドローンを活用するシステムを構築し、住民の利便性を向上させ、持続可能な地域を目指すための「新スマート物流SkyHub®」の実装を行う。ドローンで運べない重いものや悪天候の際は陸上配送を組み合わせることで配送の信頼性を確保する。</p>		
具体サービス	<p>地区内に拠点とドローン着陸ポイントを設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。悪天候時や重い荷物、人が運んだ方が効率的な場合は陸送</p> <p>【ドローンと陸送を組み合わせた配送サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買物代行サービス • 共同配送（各社が赤字で運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算性を確保し、地域のドライバー不足解消を図る • 見守りサービス <p>【配送管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 陸送とドローン配送の管理システム • ドローンが運んだ方が効率的な場所、荷物量をシステムで管理 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送運航日数 ②共同配送同意企業 ③連携する飲食・商店数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送サービス利用者数 ②現地新規雇用数 ③サービスの満足度 	 

事業概要 【デマンド交通サービス支援システム】

実施地域	鳥取県岩美町	事業費	5,586千円
実施主体	鳥取県岩美町	人口	11,000人
事業概要	<p>路線バスの効率化を図るため、デマンド交通のデジタル予約システムを導入する。 予約受付による運行を行うことで、効率的な運行と時間の有効活用が期待され、限られた人員と資源を有効活用した運営を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【デマンド交通サービス支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンのアプリやタブレット端末、電話等で希望の時間と乗降場所を指定して予約する。 	<p>スマートデマンド交通システム概略</p> <p>①利用者 鈴木です、クリニックまでお願いします。 電話もしくはWEBから予約</p> <p>②予約センター 鈴木さん、10時便を予約します。 ・利用者検索・配車 ・予約情報送信 ・ドライバー選定 ・乗降情報確認 ・統計・検索・配車表 受付端末・パソコン ・利用情報送信 ・ドライバー選定 ・乗降情報確認 ・統計・検索・配車表 インターネットを通じてシステム提供</p> <p>サーバセンター ◎ NDソフトでサーバの運用・保守</p> <p>③運行事業者 車載機タブレット データ通信 ・配車情報確認 ・住宅地図表示 ・乗降情報送信 鈴木さん10時便で自宅からクリニック、確認しました。</p> <p>【システム環境概要】 ①利用者からの電話をオペレーターが受けると共に、信号により利用者情報を検索しパソコンに表示します。 ②システムはサーバセンターにあり、インターネットを通じて利用いたします。 ③車載タブレット機器とは、データ通信により利用者情報を送信し、乗降情報などの返信を受けます。</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド予約システムの利用者数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド交通サービス支援システム利用者の満足度 ② ③ 	

事業概要 【八頭町・未来の田舎プロジェクト Stage 2（移動部門）】

実施地域	鳥取県八頭町	事業費	57,406千円
実施主体	鳥取県八頭町、(株)シーセブンハヤブサ 等	人口	16,073人
事業概要	<p>・八頭町は、人口凡そ1万6千人、高齢化率は36.3%、人口減少が続き、R4に過疎指定を受けた。町総合戦略策定時の町民アンケート（R1実施）で最重要とされた「高齢者の孤立・空き家増加・交通弱者」への対策として、3つのプロジェクトを同時並行で実施する。</p> <p>・本プロジェクトでは配送網再構築や地元密着配送サービスの導入により、持続可能な自治体運営につなげる。</p>		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローン配送 ・ 物流網の再構築 ・ 町内企業による地元密着配送サービス ・ （参考）自動運転バスを別途の補助事業で申請予定 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①【物流網再構築関係】共同配送同意企業数</p> <p>②【ドローン関係】ドローン配送サービス運航日数</p> <p>③【地元密着配送関係】アプリ経由の注文数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①【物流網再構築関係】荷物配達状況に関するサービス満足度</p> <p>②【ドローン関係】ドローン配送サービスに関するサービス満足度</p> <p>③【地域密着配送関係】サービス満足度</p>	

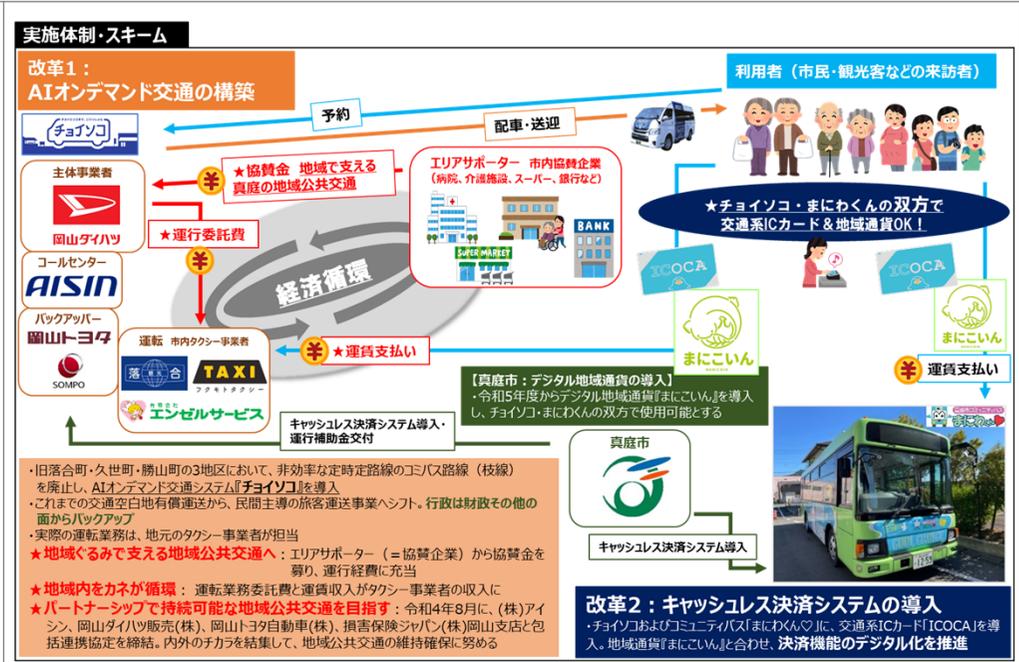
事業概要 【高齢者・障害者公共交通利便性向上事業】

実施地域	岡山県赤磐市	事業費	58,897千円
実施主体	岡山県赤磐市	人口	42,661人
事業概要	<p>交通ICカードを発行し、高齢者・障害者のバス運賃を半額にすることにより、公共交通の利用促進を図る。また、利用実績に応じて割引相当額を民間バス事業者へ補填して、現在は企業努力で負担している部分を行政として相応の負担を行うもの。そのことで、市民の生活を支える公共交通の維持を図る。</p>		
具体サービス	<p>【ハレカカード（交通ICカード）サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市は交通系ICカード ハレカカードを発行し、利用者は非接触決済でバスを利用（半額割引。市内移動などの制約あり） 市が市民に独自の交通系ICカードを発行することで、市民の運賃負担について独自の運賃割引が実施できる。そこで、障害者などに加えて高齢者の運賃も半額割引を実施する。市内の高齢者は移動の不安が軽減され、運転免許の返納も促進され、安心安全なまちづくりに資する。 公共交通の利用促進を図り、割引相当額を補填することにより、人口減少に伴い利用者も減少していくことが想定される中でも、公共交通網の維持を図る。 カード発行者として得られるデータを分析し、データに裏打ちされた交通政策を実施できる。 	<p>【カード発行元】</p> <pre> graph TD A[バス事業者] --> C B[岡山市] --> C D[赤磐市] --> C subgraph C [バス利用者] E["【通常運賃】 ・一般"] F["【半額運賃】 ・障害者 ・高齢者(市民のみ)"] end </pre> <p>【バス利用者】</p> <p>【通常運賃】 ・一般</p> <p>【半額運賃】 ・障害者 ・高齢者(市民のみ)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①市発行ハレカカードを利用して半額割引を受けた高齢者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①高齢者の免許返納数</p>	

事業概要 【真庭市地域公共交通デジタル実装プロジェクト】

実施地域	岡山県真庭市全域	事業費	19,187千円（全体） 5,858千円（対象経費）
実施主体	岡山県真庭市	人口	42,675人（R4.12.1現在）
事業概要	定時定路線バスの限界、ドアツードアの移動ニーズへの対応、都市部のバスやJRとの利便性のギャップといった真庭市の地域公共交通を取り巻く課題を解決するため、「AIオンデマンド交通の構築」、「キャッシュレス決済システムの導入」の二本柱のデジタル改革を実施し、持続可能な地域公共交通のしくみを構築する。		

<p>具体サービス</p> <p>AIオンデマンド交通システム『チョイソコ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内主要3地域において、コミュニティバスのルート（枝線）を転換し、AIオンデマンド交通システム『チョイソコ』を導入 <p>『ICOCA』の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 市コミュニティバスまにわくん♡へICOCAを導入



<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①チョイソコの実利用者数 ②チョイソコの利用回数 ③キャッシュレス決済による年間決済金額 ④コミュニティバス車両およびチョイソコ用車両におけるキャッシュレス対応車両の割合
--

<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コミュニティバスまにわくん♡とチョイソコの年間運賃収入 ②AIオンデマンド交通システム、キャッシュレス決済それぞれの利用者の満足度
--

事業概要 【 デマンドバス実装によるスマートアイランドMaaS事業】

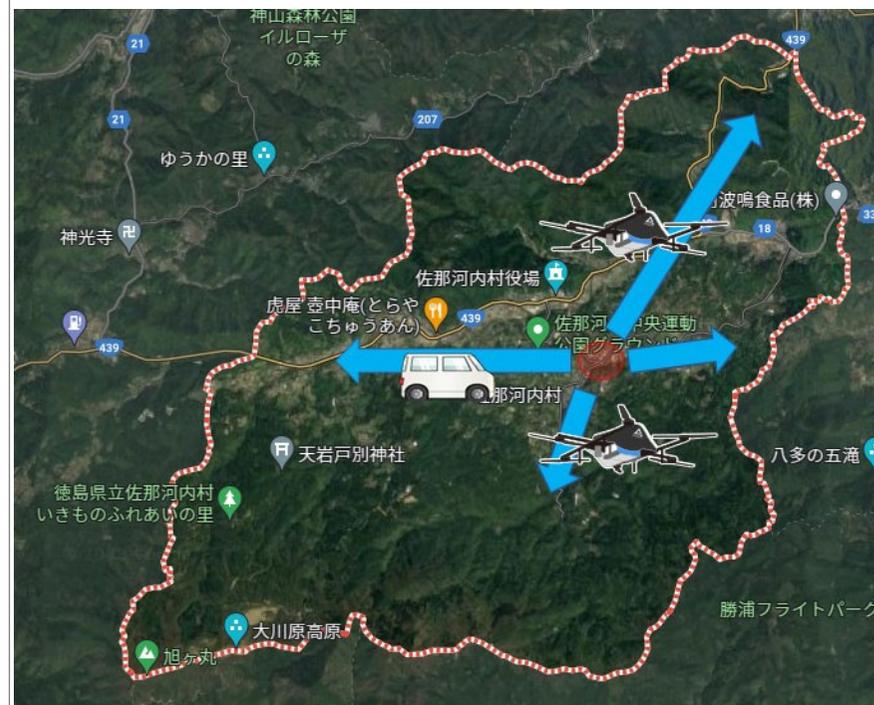
実施地域	広島県大崎上島町（大崎上島、長島）	事業費	60,261千円
実施主体	広島県大崎上島町	人口	7,043人
事業概要	<p>デマンドバスの運行により、自家用車の運転が困難な住民の移動課題を解決する。</p> <p>現在のおと姫バス(定時定路線のコミュニティバス)では、島の隅々までカバーできず、停留所から遠い家に住む住民にとって利便性が低い。時刻表を組み換えても住民の生活様式に合わず、待ち時間が多く発生している。予約型かつ広いエリアでの区域運行にすることで島内全域をカバーでき、住民の生活様式に合わせた運行が可能となる。</p>		
具体サービス	<p>時刻表を持たず、路線バスより多く設定した停留所間を自由に行き来できるデマンドバスを運行させ、住民にとってより利便性の高い公共交通を提供する。</p> <p>なお、予約管理には予約・配車システムを導入することで、地域交通事業者の予約管理や予約変更によるルート差異設定などの負担を最小限にする。</p> <p>また、統計データ整理については、システムの実績データで把握できるため、運行改善の検討や、大崎上島町公共交通連携協議会、町議会等への報告が容易にできる。</p> <p>【デマンド交通サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に停留所間を移動 時刻表に縛られない移動を実現 乗客が無くても運行する無駄を削減 	<h3>事業イメージ図</h3> <p><利用者登録></p> <p><予約></p> <p><運行></p> <p><実績確認・運行改善></p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①予約・配車システム登録者数 ②おと姫バス平均利用者数 ③Webアプリからの予約率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①おと姫バスへの満足度 ②高齢者免許返納者数 	

事業概要 【交通安全教育デジタル化推進事業】

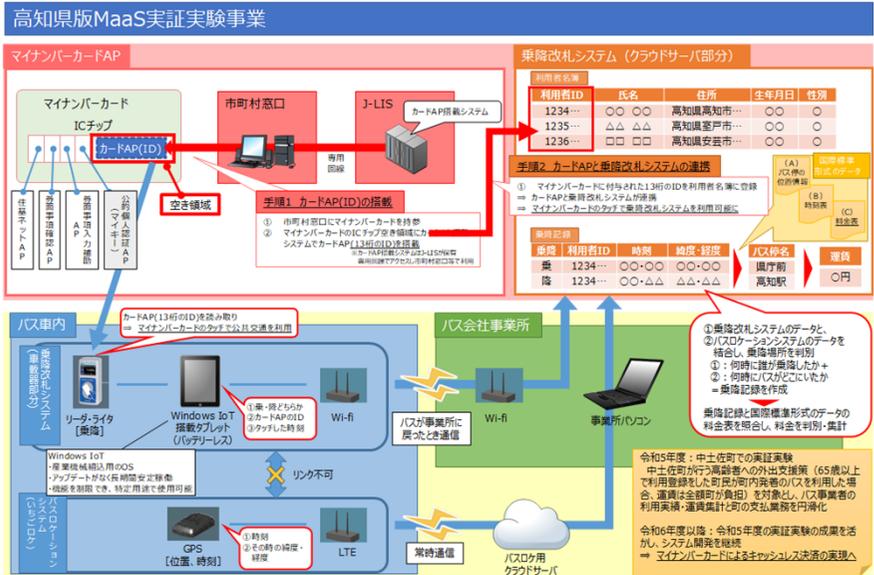
実施地域	徳島県全域	事業費	8,000千円	
実施主体	徳島県警察本部	人口	724,584人	
事業概要	<p>徳島県においては、安全運転管理者講習について、現在、「対面方式」でのみ実施している。「オンライン講習」及び「終了証書の電子交付」を導入することにより、受講者は対面受講又はオンライン受講を選択でき、オンライン受講は会場に来場することなく受講が完結するため、移動時間・費用の削減等による負担軽減や、受講日の柔軟な選択による利便性の向上が図られるとともに、感染症の流行等にも影響を受けることなく受講が可能となる。</p>			
具体サービス	<p>【オンライン講習・終了証書の電子交付】</p> <ul style="list-style-type: none"> • WEB会議システムを活用し、会場の講習をライブ配信し、受講者はオンラインで受講 • 受講後は、専用サイトにより電子署名・電子印影を用いて終了証書を電子交付 • 受講者は、講習の全課程がオンラインで完結するため、来場が不要に 			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①オンライン講習の年間実施回数 ②オンライン講習の受講率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①オンライン講習の満足度</p>	<p>安全運転管理者講習のオンライン化の概要</p> <p>The diagram illustrates the transition from a traditional in-person training process to an online one. The 'Current' process (top) shows a participant going to a training venue (lower venue), receiving materials, attending a 6-hour lecture, and then receiving a certificate on the spot. The 'Online' process (bottom) shows a participant applying from a business or home, submitting an application, attending a 6-hour online lecture, and receiving a certificate electronically. A legend indicates that the online process involves electronic applications and certificates.</p>	

事業概要 【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

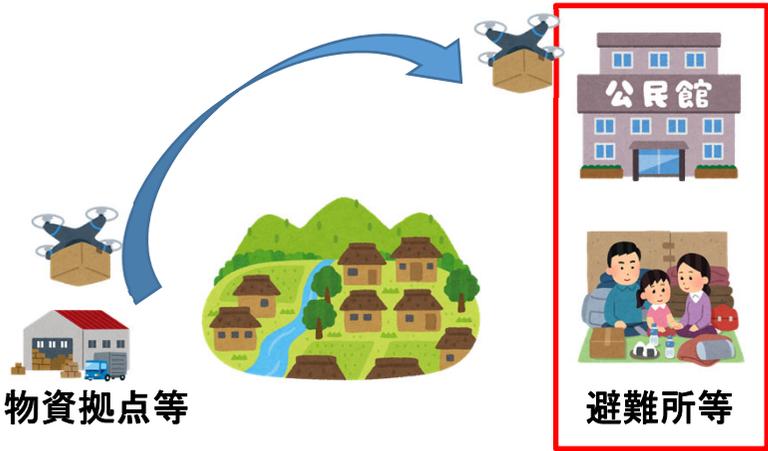
実施地域	徳島県佐那河内村	事業費	50,000千円
実施主体	株式会社NEXT DELIVERY	人口	2,058人
事業概要	<p>佐那河内村は面積42.28km²であるが、村内での買い物可能な店舗は限られ、高齢化が進み買い物が課題となっている。この地域課題を解決するため、買い物支援など、様々な用途でドローンを活用するシステムを構築し、住民の利便性を向上させ、持続可能な地域実現を目指すための「新スマート物流SkyHub®」の実装を行う。ドローンで運べない重いものや悪天候の際は陸上配送により配送の信頼性を確保する。</p>		
具体サービス	<p>地区内に拠点とドローン着陸ポイントを設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。悪天候時や重い荷物、人が運んだ方が効率的な場合は陸送</p> <p>【ドローンを組み合わせた配送サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買物代行・弁当配食サービス • 軽農作物出荷代行サービス • 共同配送（各社が赤字で運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算性を確保し、地域のドライバー不足解消を図る。） <p>【配送管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 陸送とドローン配送の管理システム • ドローンが運んだ方が効率的な場所、荷物量をシステムで管理 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン配送サービス運航日数 ②共同配送同意企業数 ③連携する飲食・商店数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドローン人材育成人数（ドローン操縦者） ②新規雇用人数 ③サービス満足度 	



事業概要 【高知県版MaaS推進事業】

実施地域	高知県中土佐町	事業費	53,330千円																																						
実施主体	高知県	人口	691,527人																																						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを使って資格確認及び公共交通（路線バス）の乗降改札ができるようにし、利用者の利便性向上とデジタル化による事務負担の軽減を図る。 ・中土佐町の取組をデジタル化することにより、県内の他の自治体においても同様の取組が実施できるようにする。 																																								
<p>【マイナンバーカードを活用した路線バスの乗降改札サービス】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中土佐町在住の65歳以上の方で、バスパス事業の利用を希望される方のマイナンバーカードにカードAPとして利用者IDを付与 ②路線バスに積載したカードリーダーで利用者IDを読み取り、乗車又は降車時刻とともに記録 ③車内GPSの記録と②の記録から「誰が、どのバス停で乗降したか、その運賃はいくらか」のデータを整理 ④③のデータを基に中土佐町と路線バス事業者の間で清算 <p>具体サービス</p>	 <p>高知県版MaaS実証実験事業</p> <p>マイナンバーカードAP</p> <p>市町村窓口</p> <p>J-LIS</p> <p>カードAP搭載システム</p> <p>乗降改札システム（クラウドサーバ部分）</p> <p>マイナンバーカード</p> <p>ICチップ</p> <p>カードAP(ID)</p> <p>空き領域</p> <p>手順1. カードAP(ID)の搭載</p> <p>① 市町村窓口にてマイナンバーカードを持参 ② マイナンバーカードにチップ搭載可能なシステムでカードAP(13桁のID)を搭載</p> <p>手順2. カードAPと乗降改札システムの連携</p> <p>① マイナンバーカードに付与された13桁のIDを利用者名簿に登録 ② カードAP搭載システムが乗降改札システムと連携 ⇒ マイナンバーカードのICで乗降改札システムを利用可能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用ID</th> <th>氏名</th> <th>住所</th> <th>生年月日</th> <th>性別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1234...</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>高知県高知市...</td> <td>〇〇/〇〇/〇〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>1235...</td> <td>△△△△</td> <td>高知県室戸市...</td> <td>〇〇/〇〇/〇〇</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>1236...</td> <td>□□□□</td> <td>高知県安芸市...</td> <td>〇〇/〇〇/〇〇</td> <td>〇</td> </tr> </tbody> </table> <p>乗降記録</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>乗降</th> <th>利用ID</th> <th>時刻</th> <th>始発・終点</th> <th>バス線名</th> <th>運賃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗</td> <td>1234...</td> <td>〇〇:〇〇</td> <td>〇〇・〇〇</td> <td>高知駅</td> <td>〇円</td> </tr> <tr> <td>降</td> <td>1234...</td> <td>〇〇:△△</td> <td>△△・△△</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>バス車内</p> <p>カードAP(13桁のID)読み取り ⇒ マイナンバーカードのICで公共交通利用</p> <p>カードリーダー</p> <p>Windows IoT 搭載タブレット (バッテリーレス)</p> <p>Wi-Fi</p> <p>バスが事業所に長次と連携</p> <p>バス会社事業所</p> <p>Wi-Fi</p> <p>事業所/パソコン</p> <p>乗降記録と国際標準形式のデータの料金表を照合し、料金を判別・集計</p> <p>①乗降改札システムのデータと、②バス事業者のシステムとのデータを結合し、乗降場所を判別 ①: 何時に誰が乗降したか + ②: 何時にバスがどこにいたか ⇒ 乗降記録を作成</p> <p>令和5年度: 中土佐町での実証実験 中土佐町が町民向けに高齢者への外出支援策(65歳以上で利用登録をした町民が町内発着のバスを利用した場合、運賃は全額町が負担)を対象とし、バス事業者の利用実績・運賃集計と町の支払業務を円滑化</p> <p>令和6年度以降: 令和5年度の実証実験の成果を活かし、システム開発を継続 ⇒ マイナンバーカードによるキャッシュレス決済の実現へ</p>			利用ID	氏名	住所	生年月日	性別	1234...	〇〇〇〇	高知県高知市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇	1235...	△△△△	高知県室戸市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇	1236...	□□□□	高知県安芸市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇	乗降	利用ID	時刻	始発・終点	バス線名	運賃	乗	1234...	〇〇:〇〇	〇〇・〇〇	高知駅	〇円	降	1234...	〇〇:△△	△△・△△		
利用ID	氏名	住所	生年月日	性別																																					
1234...	〇〇〇〇	高知県高知市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇																																					
1235...	△△△△	高知県室戸市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇																																					
1236...	□□□□	高知県安芸市...	〇〇/〇〇/〇〇	〇																																					
乗降	利用ID	時刻	始発・終点	バス線名	運賃																																				
乗	1234...	〇〇:〇〇	〇〇・〇〇	高知駅	〇円																																				
降	1234...	〇〇:△△	△△・△△																																						
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①乗降改札システムの完成 <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「整理券に比べ、利便性が向上した」と答える利用者の割合 ②65歳以上の中土佐町民のマイナンバーカード普及率 																																								

事業概要 【緊急物資配送用ドローン運行管理システム構築業務委託】

実施地域	高知県全域	事業費	57,453千円
実施主体	高知県	人口	675,120人
事業概要	<p>高知県は、県土の84%が森林で占めており、例年、台風や豪雨によって孤立地域が発生している。このため、緊急物資（医薬品・食料）を防災ヘリや自衛隊ヘリで配送する際に、被災地や飛行ルート上の視界不良やヘリポートの有無によって、物資配送に時間を要する場合がある。</p> <p>このことから、緊急物資配送用ドローンを整備することで、迅速な物資配送の体制を整え防災力の強化を図る。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【緊急物資配送用ドローン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立地域への緊急物資の配送 	 <p>The diagram illustrates the drone delivery process. On the left, a drone is shown taking off from a '物資拠点等' (Supply Point) which includes a warehouse and a truck. A blue curved arrow indicates the flight path over a rural landscape with houses and a river. On the right, the drone is shown landing at a '避難所等' (Disaster Relief Site), which is highlighted with a red border and includes an illustration of a '公民館' (Community Center) and a family sitting on the ground with supplies.</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①緊急物資配送の実動回数 ②オペレータ養成～操縦者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①訓練に参加した自主防災組織（住民）の満足度 	

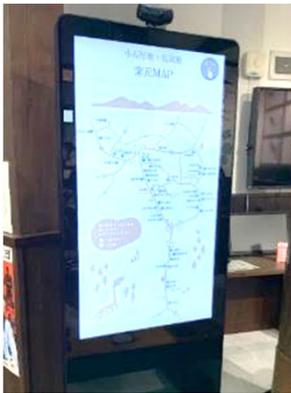
事業概要 【嘉麻市デマンド運行型バスシステム更新事業】

実施地域	福岡県嘉麻市	事業費	12,100千円
実施主体	福岡県嘉麻市	人口	35,529人 (R4.12.31)
事業概要	<p>嘉麻市は、令和2年4月から市の公共交通を再編し、再編後の公共交通の一つとして、デマンド運行型バスを導入している。デマンド運行型バスの運行に関しては、MONET Technologies株式会社のシステムを利用して、電話及びアプリで利用可能であるが、現システムにおいては、アプリでの乗り継ぎ利用ができない、予約可能な時間が分からないなどの課題があるため、システムを切替することで利用者の利便性向上を図るものである。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【MONETオンデマンドモビリティサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> デマンド運行型バスの予約管理システムの提供 専用アプリでの予約受付の対応 スマホアプリ「LINE」での予約受付の対応 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド運行型バスアプリ登録者数 ②デマンド運行型バスアプリ利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド運行型バス満足度の向上 	

事業概要 【オンデマンドバス運行事業】

実施地域	福岡県糟屋郡志免町 全域	事業費	61,321千円
実施主体	福岡県糟屋郡志免町	人口	46,565人
事業概要	福祉巡回バスに代わる新たな交通手段としてオンデマンドバスを令和5年度末に導入・運行開始し、随時運行内容の適正化を実施する。		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> 利用者はスマートフォンアプリや電話予約で、乗車予約を行う。 システムが予約を受け取り、AIを活用して運行ルートを作成し、最適な配車を行う。 利用者は指定したミーティングポイント（乗降場）から乗り込む。運行途中に予約が入った場合、AIが運行ルートを最適化し、配車可能であれば対応する。 システムとスマートフォンアプリは連動しており、乗車する車両の運行ルートや、運行中の車両の現在地・到着予定時刻などを表示することもできる。 		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 年間利用者数 ② ③	【アウトカム指標（成果指標）】 ① 利用者満足度（アプリ利用者） ② ③	

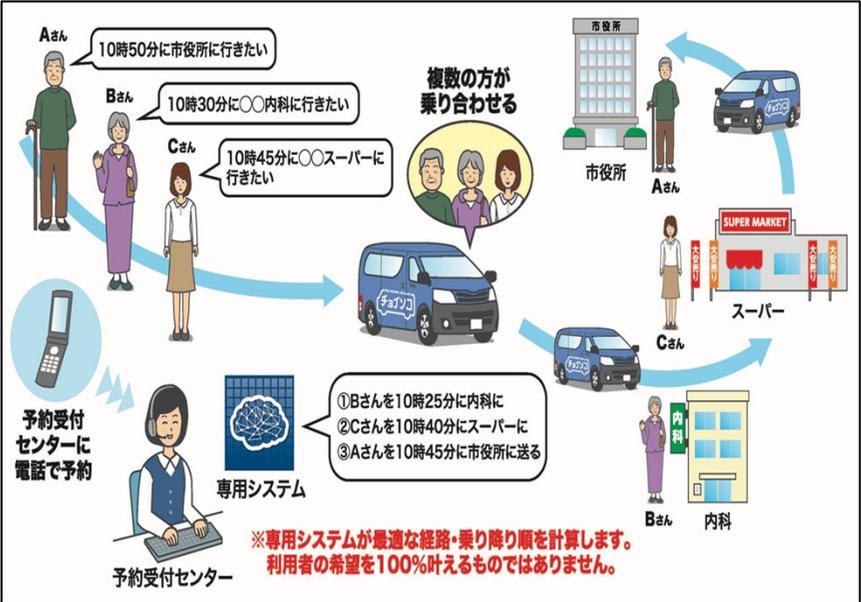
事業概要 【 AI活用型オンデマンド交通の導入を起点とした地域交通のデジタル化推進】

実施地域	福岡県東峰村	事業費	43,775千円 (200,000千円以内)
実施主体	福岡県東峰村	人口	1,978人
事業概要	<p>移動手段を持たない住民の増加や、BRT開業を契機とする観光客の増加を踏まえ、自由経路、非固定ダイヤで運行する乗合タクシーを導入する。限られた人員で利便性の高いサービスを提供するため、AI活用型システムによる運行管理を行うとともに、専用アプリやLINE等、簡易に予約できる受付窓口を用意する。さらに、デジタルサイネージやデジタルきっぷを導入し、地域交通のデジタル化による相乗的な利便性、効率性の向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【AI活用型オンデマンド交通サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリ/LINEによる即時配車予約 • AIによる効率的な運行ルート生成・指示 • AIの自動学習機能による運行指示精度向上 • ドアトゥードア運用による高い利便性 <p>【デジタルサイネージによる情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一覧性の高い網羅的な交通・観光情報の発信 • 発色の美しさを活かした観光地の魅力発信 <p>【デジタルきっぷの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 村内観光のパッケージ化 • ルート検索アプリと連動した企画乗車券の販売 	<p>AI活用型オンデマンド交通サービス</p>  <p>デジタルサイネージによる情報発信</p>  <p>デジタルきっぷの作成</p> 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI活用型オンデマンド交通の利用者数 ②デジタルサイネージ閲覧数 ③デジタルきっぷ販売数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI活用型オンデマンド交通のサービス満足度 ②観光客満足度 ③観光入込客数 	

事業概要 【AIオンデマンド導入乗合事業】

実施地域	福岡県糸田町全域及び田川市（田川市立病院）	事業費	13,745千円
実施主体	福岡県糸田町、糸田町地域公共交通会議等	人口	8,724人
事業概要	<p>現在、社会福祉協議会が運営する「福祉バス」は高齢者や障がい者等の利用者が特定されている為、町民等全員が利用できる交通手段として「人工知能(AI)技術を活用したオンデマンド型乗合交通」を導入する。効率性・利便性・機動性を高める公共交通システムを導入することで、運転手の負担軽減や燃料費等の削減が期待できる。また、ドアtoミーティングポイントにより利用者の利便性が向上し、特に高齢者の外出の向上を見込む。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【配車システムの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間やルートを固定せず需要に応じてAIによるリアルタイムな便乗配車計算を行う <p>【アプリケーションの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションでの予約が可能 ・乗降時間に応じた予約対応 ・配車システムとの連携により、AIが自動で最適な車両と走行ルートを判断し、伝達 	<p>配車イメージ</p>  <p>1. デマンドに応じて車両が走行 2. 異なるデマンドが発生 3. リアルタイムにルート最適化</p> <p>システム導入により期待できる効果</p>  <p>空車のまま走行する公共交通 システム導入 実要求に則した新型公共交通</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①予約アプリのダウンロード累計数 ②AIオンデマンド乗合交通の利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド乗合交通の満足度 	

事業概要 【AIデマンドタクシー導入事業】

実施地域	熊本県熊本市 南区天明地区、東区长嶺・錦ヶ丘地区	事業費	22,000千円
実施主体	熊本県熊本市、株式会社アイシン等	人口	74万人
事業概要	<p>・利用者はアプリやコールセンターへの電話にて乗車の予約を行い、それらの予約に応じてAI を活用して運行ルートを作成し、効率的な配車を行う。</p> <p>・コロナ禍における運賃収入減少や運転手不足による減便等の交通事業者の抱える課題に対し、デマンドタクシーの運行により利用者のニーズと適切にマッチングさせることで運行の効率性が向上。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【AIデマンドタクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド交通の導入により、利用者の自由な移動を可能にし、効率的で持続可能な移動手段を実現するもの ・ 利用者はアプリやコールセンターへの電話にて乗車の予約を行う ・ 予約受付システムでは、予約を受け取り、その後AIを活用して運行ルートを作成し、効率的な配車を行う ・ 利用者やドライバーに運行ルートや現在地等を表示することも可能 	 <p>複数の方が乗り合わせる</p> <p>予約受付センターに電話で予約</p> <p>専用システム</p> <p>①Bさんを10時25分に内科に ②Cさんを10時40分にスーパーに ③Aさんを10時45分に市役所に送る</p> <p>※専用システムが最適な経路・乗り降り順を計算します。利用者の希望を100%叶えるものではありません。</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者数 ②利用者の乗合率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者の満足度 	

事業概要 【MaaS推進事業】

実施地域	大分県大分市、別府市、由布市、佐伯市、臼杵市、国東市	事業費	27,137千円
実施主体	大分空港利用促進期成会	人口	1,131,140人
事業概要	大分空港を起点としたMaaSを推進する実行組織の取組に対し、支援を行うことで、県内のMaaS基盤を構築し、①利用者の利便性向上、②公共交通の利用促進、③ホーバークラフト等新型輸送サービスの二次アクセス性の向上、④他分野との連携による移動需要の創出等、地域課題の解決を図る。		
具体サービス	<p>【MaaSアプリ「my route」の実装】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な交通手段を組み合わせたルート検索・予約・決済がワンストップでできるスマホアプリ 県内の観光情報やイベント情報等と連携し、情報発信を行うことで、大分県の魅力と移動を直結させ、県民や来県者の行動の変容を促す。 <p>【バスロケーションシステムの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムを「my route」と連携することで、路線バスの所在地や遅延状況等が把握でき、利用者の利便性向上が期待できる。 <p>【タクシー配車アプリ「らくらくタクシー」の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内多数のタクシー事業者が参画している配車アプリ「らくらくタクシー」と「my route」を連携させることで、利用者の利便性向上が期待できる。 <p>【ホーバークラフトとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年3月に大分空港と西大分港を結ぶホーバークラフトが就航予定。 「my route」とホーバークラフトを連携することで、二次アクセス性の向上が期待される。 		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①連携する事業者・サービス数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者満足度	



事業概要 【データ連携基盤による公共交通及び観光情報サービス】

実施地域	大分県臼杵市	事業費	47,300千円	
実施主体	大分県臼杵市	人口	36,152人	
事業概要	<p>臼杵市では免許返納後でも不自由のない移動手段を確保できるように、マイカーに依存しないスムーズな交通サービスの活用を目指した情報基盤を構築する。それぞれが独立し情報が分断された既存の移動サービス同士をつなげることで、利便性の高いシームレスな交通サービス網の整備を目指すと共に、交通サービスに連携した観光情報を提供し、地域経済の活性化に向けた取り組みを合わせて実施する。ここにデータ連携基盤を用いて既存のデータ（役所が保有する情報や地元企業の情報）を連携させることで、単独サービスでは実現できない多様な情報を提供し上記サービスの一元化を図り更なる価値向上に努める。</p>			
具体サービス	<p>データ連携基盤によるシームレスな交通サービス網 <実装範囲> 【公共交通ロケーション及び観光情報サービス】 コミュニティバスやスクールバスなどの位置情報及び運行情報をリアルタイムに可視化。車両の接近通知と到着予定時刻の表示。JRとの乗り継ぎを考慮した時刻表情報や役場の混雑情報などの連携。 イベントシャトルバスの運行情報の公開、交通及び位置情報に連動した観光情報。臼杵食文化創造都市関連の地元企業の情報提供や利用者のリアクションや評価機能。 【効果】 JRの時刻表や役所の混雑情報などはよりスムーズな移動を実現する効果を期待でき、且つセンサーによる属性情報に加えて、臼杵食文化創造都市関連の地元企業情報をあわせて提供することで購買活動に繋がり、企業側もデータ連携のメリットを享受できる。 <拡張・将来展望> 車両増設やルート拡張、時期ごとの特徴に合わせた運行の検討さらには公共交通に限らず民間運営の交通サービスとの接点を広げ、かつ地域間連携を実施することで地域経済の活性化のための新期顧客獲得を図るシームレスな接続の実現を目指す。</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①ウェブサイトへのアクセス累計数 ②データ連携基盤により情報連携させるデータ種別の数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①サービス満足度調査 ②利用者人数の増加 ③観光プラザの来館者増加</p>		

事業概要 【高度A I 分析による交通渋滞緩和対策事業】

実施地域	大分県由布市・湯布院地域	事業費	9,587千円
実施主体	大分県由布市	人口	33,617人（R4.12.1時点）
事業概要	<p>由布市湯布院地域が抱える交通渋滞対策として、“人”と“まち”のデータをリアルタイムで可視化・分析できる基盤を構築、由布市公式アプリ（ゆふぽ）や公式LINEを活用し、地域住民及び観光客に交通情報を効果的に発信し、デジタルデバイスの利活用を推進する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="387 746 1155 1062" style="width: 45%;"> <p>【AI活用による情報分析と情報発信】 交通渋滞が発生しやすい箇所へA Iカメラを設置し、A Iカメラから入手した情報は、リアルタイムにデジタルサイネージやポータルサイトへ情報を周知 同時に、都市O Sから得られる情報を基にして渋滞・人流を予測し、迂回路等の事前情報発信を行う事で渋滞緩和を図る。 <u>通称：「ゆふいん行くなら裏道で」（ポータルサイト名）</u></p> </div> <div data-bbox="1211 608 2022 1182" style="width: 50%;"> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①情報掲載媒体数 ②情報掲載発信数 <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①由布市公式アプリのダウンロード数 ②由布市公式LINE「友達登録数」 ③迂回路等の利用率 		

事業概要 【鹿児島市交通局運賃クレジットカードタッチ決済導入事業】

実施地域	鹿児島県鹿児島市	事業費	169,077千円
実施主体	鹿児島県鹿児島市交通局	人口	597,991人
事業概要	<p>インバウンド需要を見据え、市電と同様に市バスへクレジットカードタッチ決済を導入する。また、クレジットカード決済の特性を活かした新サービスを導入し、窓口で定期券等を事前購入せずともすむように利便性を向上し、併せて乗降前後の消費活動も含めた利用データを分析し、その結果をオープンデータ化することにより、交通データの新たな利活用を図る。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【運賃クレジットカードタッチ決済サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通運賃の支払いにクレジットカードのタッチ決済を使えるようにし、新たな割引サービスを創設するなど利便性の向上を図る。 <p>【利用データオープンデータ化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗降データに加え、乗降前後のクレジットカードを使用した消費活動に係るデータも分析し、その結果をオープンデータ化して民間事業者や個人が自由に利活用できるようにする。（市電も含む） </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①現金収入とクレジットカードタッチ決済利用金額の構成比</p> <p>②オープンデータのダウンロード数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①運賃クレジットカードタッチ決済サービスの満足度</p> <p>②オープンデータ利用者の満足度</p>	

事業概要 【AI活用型オンデマンドバス運行事業】

実施地域	鹿児島県霧島市	事業費	23,731千円
実施主体	霧島市、トヨタカローラ鹿児島(株)、(株)トヨタ車体研究所 旭交通(株)、(有)中村タクシー	人口	124,771人
事業概要	<p>運転手の高齢化に伴いバス路線の維持・確保が困難な状況の中、普通2種免許で運行可能な小型車両への転換や、デジタルを活用した予約・配車システムを導入することにより、医療機関や商業施設内への乗り入れなど、利用者の移動ニーズに応じたきめ細やかな運行を実現する。本運行を通じ、高齢者はもとより、これまでバスを利用したことがない若年層への利用の浸透を図るなど、持続可能な地域公共交通サービスを構築する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="389 708 1155 1158" style="width: 45%;"> <p><AI活用型オンデマンドバス> 従来の定時定路線型ではなく、利用者は、ウェブ又は電話によりいつでも予約が可能となり、運行エリア内を乗継なしで目的地への移動を可能とする予約型乗合交通である。 AIが予約の状況に応じてリアルタイムに運行ルート进行計算し、当該情報は、リアルタイムに車両内のタブレットに配信される。 そのため、待ち時間や移動時間の短縮など、利用者ニーズにあった利便性の高い運行が実現される。</p> </div> <div data-bbox="1205 639 2029 1206" style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px;">乗り合い送迎サービスのしくみ</p> <p style="text-align: center;">「乗り合いサービス」とは、複数の利用者の目的地・到着時刻を、専用システムにより計算し、複数の方が乗り合わせた上で目的地までお送りするしくみです。</p> <p style="text-align: center;">複数の方が乗り合わせる</p> <p style="text-align: center;">チョイソセンターに電話かインターネットで連絡</p> <p style="text-align: center;">帰りもチョイソコで！</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1日あたり平均利用者数 ② ウェブ予約率 ③ 民間施設（商業施設・医療機関等）敷地内に設置した乗降スポット数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 顧客満足度（NPS） ② 事業の収支率